

令和5年度  
事業報告書

社会福祉法人  
名張市社会福祉協議会

## 目 次

I	総務課	1
1.	法人運営事業	
2.	職員定着に向けた取り組みの徹底	
3.	感染対策・災害対策の強化	
II	地域福祉課 地域福祉係	8
1.	地域福祉活動計画	
2.	くらし応援ネットワーク事業	
3.	ボランティアセンター事業・福祉まちづくりセンター事業	
4.	福祉団体等当事者活動支援	
5.	地域福祉活動助成事業	
6.	名張市共同募金委員会事業	
7.	善意銀行事業	
8.	日本赤十字社名張市地区事業	
III	地域福祉課 生活支援係（なばり暮らしあんしんセンター）	28
1.	多様な生活福祉課題に対応できる相談体制基盤の整備	
2.	福祉サービス利用援助事業	
3.	成年後見事業	
4.	生活困窮者自立支援事業	
5.	生活福祉資金等貸付事業	
IV	介護支援課	36
1.	介護保険事業	
2.	老人福祉センター指定管理事業	
4.	一般介護予防事業	
5.	健全経営体制の基盤整備	
V	昭和保育園	45
1.	事業の概要	
2.	適切な運営体制確立	
3.	特別保育事業	
4.	マイ保育ステーションの取り組み（地域の子育て支援事業の推進）	
VI	総務課・地域福祉課	50
1.	総合福祉センター指定管理事業	

## I. 総務課

### 1. 法人運営事業

#### (1) 経営管理基盤の整備・強化

##### ① 法令遵守した会務運営

###### ア. 理事会の適正実施

会長等の選任、事業計画・予算、事業報告・決算についての承認、規程の一部改正、組織構成会員の入会及び評議員候補者の推薦を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月7日(水)	1) 令和4年度 決算に伴う積立資産の積立 2) 令和4年度 事業報告及び附属明細書の承認 3) 令和4年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認 4) 組織構成会員の入会 5) 令和4年度 地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定 6) 令和5年度 地域福祉活動助成事業にかかる審査 7) 役員候補者の決定 8) 令和5年度 定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定
第2回 6月22日(木)	1) 会長の選任 2) 副会長の選任 3) 常務理事の選任 4) 評議員選任・解任委員の選任 5) 顧問の委嘱
第3回 8月29日(火)	1) 給与規程の一部改正 2) 非正規職員給与規程の一部改正 3) 組織構成会員の入会
第4回 12月12日(火)	1) 補正予算（第1号） 2) 第2回評議員会の招集
第5回 3月15日(金)	1) 補正予算（第2号） 2) 補正予算（第2号）に伴う積立資産の積立 3) 給与規程の一部改正 4) 非正規職員給与規程の一部改正 5) 令和6年度 事業計画 6) 令和6年度 予算 7) 第3回評議員会の招集

###### イ. 評議員会の適正実施

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、役員の選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 6月22日(木)	1) 令和4年度 事業報告の承認 2) 令和4年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認 3) 役員の選任

第2回 12月22日(金)	1) 補正予算(第1号)
第3回 3月27日(水)	1) 補正予算(第2号) 2) 令和6年度 事業計画 3) 令和6年度 予算

#### ウ. 監事監査の適正実施

事業運営と財務管理に係る監事監査を年2回実施しました。

実施日	議題
決算監査 5月16日(火)	1) 令和4年度 事業報告 2) 令和4年度 決算報告 3) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェック
中間監査 11月28日(火)	1) 令和5年度上半期の事業報告 2) 令和5年度上半期の決算報告 3) 理事・監事、評議員等の出席状況 4) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェック

#### エ. 外部監査

実施期間	監査名称	対象事業等	監査人
8月3日(木)	社会福祉施設指導監査	昭和保育園	三重県
3月22日(金)	社会福祉法人監査	法人運営・会計経理	名張市

#### オ. 各種規則・規程等の適正管理

国等の施策・制度及び社会潮流に即した各種規程等の改正と適正管理を行いました。

制定	一部改正	廃止
1要綱	6規程・1要綱・2内規	3要綱・1要領

### (2) 経営管理体制の改善

#### ① 管理会計に基づく経営管理

##### 組織運営の効率化と透明性向上

- ・資金収支予算と実績比較に基づく執行管理の取り組みをすすめました。
- ・人件費、物価等の高騰により契約仕様等を精査し、既存契約の見直しを図りました。
- ・将来発生する費用に備え、経費削減に取り組み積立資産の形成をすすめました。

#### ② 会計管理・財務管理の徹底

##### 「電子帳簿保存法改正」・「インボイス制度」への対応

- ・顧問税理士指導のもと、「電子帳簿保存法改正」・「インボイス制度」への対応ルールの策定を行うとともに、適切な税務及び財務管理を行いました。
- ・令和5年10月から施行されたインボイス制度により、取引先497事業者のうち、249事業者の登録番号を確認し、本会のT番号を通知するとともに、運用を開始しました。

### (3) 社協会員の拡大、増強による基盤強化

本会は、地域福祉推進のための参加を意思表示していただくために会員制度をとっています。社協の各事業を支えていただぐための会員拡大、増強による基盤強化に取り組みました。

#### ① 世帯会員

世帯数(世帯)	お願い額(円)	4年度実績(円)	5年度実績(円)
27,981	8,394,300	6,051,665	5,646,191

世帯会員の実績が△405,474円となりました。近年の人口減少等もありますが、住民の皆さんに、会費の納入にご理解、ご協力いただき、本会の事業に積極的にかかわっていただけるよう一層の取り組みが必要となっています。

## ②組織構成会員

分類	事業に参加する団体、機関又は個人	会員数	
		R4年度	R5年度
第1種	地域づくり組織	15	15
第2種	民生委員児童委員協議会連合会	1	1
第3種	社会福祉事業施設	12	13
第4種	当事者等団体	11	12
第5種	ボランティア団体	123	123
第6種	その他社会福祉に関係のある団体	26	25
第7種	社会福祉関係行政機関	1	1
第8種	学識経験者	2	2
合 計		191	192

地域福祉活動におけるプラットホームとしての役割を果たしていくためには、組織構成会員の果たす役割は大きいため、会員の拡大につながる取り組みをすすめました。

## (4) 組織マネジメント体制の強化

法人の健全な経営基盤の確立、業務の円滑な運営を図るため、経営会議を年20回、運営連絡会議を年13回開催し、法人の経営・運営に係る協議、検討をすすめました。

### (経営会議)

主な協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営会議の在り方、方向性の再確認</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応について</li> <li>・ 名張市物価高騰対策補助にかかる光熱水費概算について</li> <li>・ 名張市老人福祉センター「ふれあい」にかかる報道及び今後の対応について</li> <li>・ 名張市社会福祉大会について</li> <li>・ 当初・補正予算について</li> <li>・ 事業計画・事業報告について</li> <li>・ 決算監査・中間監査について</li> <li>・ 理事会及び評議員会について</li> <li>・ 善意銀行運営委員会について</li> <li>・ 給与規程等の改正について</li> <li>・ 非正規職員基本時給の改定について</li> <li>・ 第3回理事会及び会長表彰審査委員会について</li> <li>・ 指定管理事業申請について</li> <li>・ 令和6年度10月からの社会保険適用拡大について</li> <li>・ 令和6年度予算要求について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度夏季賞与の支給率について</li> <li>・ 日常生活自立支援事業にかかる不適切事例について</li> <li>・ 職員給与、手当の見直しについて</li> <li>・ 職員採用試験について</li> <li>・ ベースアップ手当の支給について</li> <li>・ 三重労働局による訪問調査について</li> <li>・ 職員採用試験について</li> <li>・ 令和5年度冬季賞与の支給率について</li> <li>・ 令和6年1月定期昇給について</li> <li>・ 人事異動内示（案）について</li> <li>・ 令和6年度組織体制について</li> <li>・ 名張市福祉まちづくりセンターの運営休止について</li> <li>・ 名張市総合福祉センター消防訓練について</li> <li>・ 能登半島地震への職員派遣について</li> <li>・ 令和5年度地域福祉増進事業補助金の一部返還について</li> <li>・ 令和6年度の主な業務内容について</li> </ul>

## (運営連絡会議)

主な協議内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>令和5年度 経営会議及び運営連絡会議の構成員について</li><li>事業計画書について</li><li>法人重点課題の対応について</li><li>法人組織体制について</li><li>新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応について</li><li>災害時における相互支援に関する協定締結について</li><li>名張市総合福祉センターふれあい全館停電について</li><li>名張市老人福祉センター「ふれあい」に係る新聞報道と今後の対応について</li><li>コロナ関連要綱等の取扱いについて</li><li>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い小学校等の臨時休業による休暇取得について</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>指定管理制度への申請事務スケジュール等について</li><li>名張市災害ボランティアセンター設置・運営について</li><li>給与規程の改定について</li><li>令和6年10月からの社会保険適用拡大について</li><li>三重労働局による訪問調査及び結果、見直しについて</li><li>能登半島地震における災害ボランティアセンター運営支援について</li><li>名張市福祉まちづくりセンター運営業務委託の中止について</li><li>消防訓練・垂直避難訓練について</li><li>令和5年度地域福祉増進事業補助金の一部返還について</li><li>各課・園からの提案・報告について</li></ul>

## (5) 業務効率・生産性の向上

ペーパーレス化や電子帳簿保存法への対応のため業務用機器（スキャナー等）を整備し、法人の生産性向上、業務効率アップに取り組みました。また、昭和保育園では、事務事業の省力化補助事業を利用し業務端末(iPad)を導入しました。

## (6) 施設設備・備品管理

老朽化施設を維持管理するため、優先順位を検討し改修工事を行いました。

### ①昭和保育園

屋外プール給水バルブ取替工事、遊戯室空調機器修理工事、門扉改修工事 他

### ②名張市総合福祉センターふれあい

小便器・大便器センサー交換工事、2階ベースライト取替工事、ベンチ天板貼替 他

### ③通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）事業所

浴室脱衣場床張り替え工事、洗面所排水管工事、小便器センサー交換工事 他

### ④名張市老人福祉センター「ふれあい」

ビリヤードラシャ貼替修理 他

## (7) 情報管理と広報活動

計算書類等を社協だより「ほほえみ」やホームページに掲載し、積極的に情報を公開しました。

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

### ①名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第53回名張市社会福祉大会を10月28日(土)、名張市武道交流館いきいきにおいて開催しました。感染症等予防に努めながらも、収容人数を緩和し、福祉功労者の顕彰

を行いました。

②ホームページを活用した情報公開と発信

ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 12,085件

③社協だより「ほほえみ」の発行

伊賀タウン情報ユーザーへの折込みにて社協だより「ほほえみ」を年6回（奇数月）発行し、より多くの家庭へ届くように、積極的な情報発信を行いました。

## 2. 職員定着に向けた取り組みの徹底

### （1）人材定着に向けた取り組み推進

①人材確保に向けた取り組み

ホームページ、社協だより「ほほえみ」への掲載等により職員の求人を実施し、職員確保に努めました。

所属	採用（正規職員）	採用（非正規職員）
総務課		事務スタッフ（2名）
地域福祉課	ソーシャルワーカー（1名）	業務スタッフ（2名）生活支援員（2名）
介護支援課		介護員（1名）、看護師（1名）、運転手（1名）
昭和保育園		調理員（1名）

②人材育成に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、対面及びWebにて研修を行いました。

（階層別研修）

実施日	研修名	参加人数
4月3日（月）	新任職員研修	3名
8月1日（火）	新任職員研修	1名

（内部研修）

実施日	研修名	参加人数
9月4日（月）～7日（木）	インボイス制度への対応	35名

③人事考課・目標管理制度の適正化に向けた取り組み

考課者研修を実施し、制度の適正運営に向けて、考課者の資質向上を図りました。

実施日	研修名	参加人数
6月28日（水）	新考課者研修	3名
11月29日（水）	考課者研修	13名

### （2）労務管理の適正実施

①働き方改革・同一労働同一賃金に基づく取り組み

ア. 初任給見直しに係る取り組み

最低賃金の引き上げに合わせて、適正な給与額となるようベースアップ手当を新設し

10月より支給を開始しました。

#### イ. 正規職員初任給及び給与表等の見直し検討

各課別に要員計画を策定し、基本情報とともに給与制度見直しにかかる雇用制度と既存考課制度との連動性の整理を行い、給与レンジ等の見直し検討を行いました。

#### ウ. 雇用形態に関わらない待遇差の是正

三重労働局の巡回指導により、非正規職員（登録職員）に対する通勤手当を見直し、非正規給与規程の改定を行いました。

#### エ. 定年後の継続雇用を含む高齢者雇用制度の見直し検討

「定年年齢」と「60歳以降の人事制度」「定年後の人事制度」について条件案について検討し、高齢者雇用制度の見直しをすすめました。

### ②安全衛生管理

職員衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、さまざまな課題について協議しました。

また、安全衛生管理規程に則り配置した安全推進者が「職場の安全推進チェックシート」による職場点検を行うとともに、安全推進部会において働きやすい職場づくりを推進するための協議・検討を行いました。

#### ア. 職員衛生委員会（12回開催）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員衛生委員会体制（安全衛生管理体制）について</li><li>・ 令和5年度 職員衛生委員会重点事業（目標）について</li><li>・ 休職職員の状況について</li><li>・ 職場巡視点検項目について</li><li>・ 次世代育成及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画</li><li>・ 職場巡視の在り方について</li><li>・ 産業医との関わりについて</li><li>・ コロナの位置付け変更前の療養期間と、変更後の推奨される期間について</li><li>・ ストレスチェック結果に対する分析</li><li>・ 産業医との契約（参加、職場巡視の在り方）について</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職場の安全推進チェックシートの見直しについて</li><li>・ 年次有給休暇取得状況について</li><li>・ 復職職員への対応報告について</li><li>・ 転倒労働災害の発生事象の報告及び対策について</li><li>・ 安全衛生管理計画及び実施結果報告書について</li><li>・ 時間外労働及び各部署における変形労働及び時間外について</li><li>・ インフルエンザ予防接種について</li><li>・ 福利厚生に関する協議事項について</li><li>・ 月別ノ一残業デー実施状況について</li><li>・ メンタルヘルス休職者の状況について</li><li>・ 月別時間外勤務の状況について</li></ul>

#### イ. 安全推進部会（6回開催）

協議内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 衛生管理者の巡視の項目について</li><li>・ 職員衛生委員会での協議報告</li><li>・ 部会長・副部会長の選出について</li><li>・ 安全推進部会メンバーについて</li><li>・ 職場安全推進チェックシートについて</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 衛生管理者の巡視のチェックシートについて</li><li>・ 安全推進者の選定について</li><li>・ 働き易い職場環境づくり、安心して働く環境づくりについて</li></ul>

### ③メンタルヘルス対応力の強化

メンタルヘルス対応体制の整理については、法人の重点課題として継続して検討協議を行うこととしています。

### ④両立支援の取り組み推進

次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画に基づき、「残

業時間の削減に向けた取り組み」、「年次有給休暇の取得率UP、正規職員の夏季休暇取得率UP」、「管理職に占める女性の割合を25%以上とする」の目標に対してそれぞれ取り組み内容を定め実施しました。また、治療と仕事の両立支援の環境づくりに向けた検討を行いました。

#### ⑤ハラスメント防止に向けた取り組み

相談への対応のための窓口（相談窓口）を定め、周知するとともに外部の機関に相談の対応等について検討を行いました。

### 3. 感染症対策・災害対策の強化

#### (1) 新型コロナウイルス感染症対策の推進

##### ①新型コロナウイルス感染症対策本部会議、対策委員会

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」になりました。法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、自主的な取り組みをベースとした対応に変わることに合わせて、各課・サービスの事業に応じた対策を行うこととしました。

#### (2) 自然災害対策の推進

福祉避難所について、名張市の担当部署に避難所運営にかかる協定の協議を要請しました。

消防訓練については、名張市総合福祉センターふれあいが特定用途防火対象であることから消防設備の配置場所や作動確認を職員に周知させる目的の「部分訓練」を1回、消火・避難・通報訓練の要素が入った一連の「総合訓練」を1回実施しました。

自然災害発生時の事業継続計画（BCP）は、自然災害発生時の名張市総合福祉センターにおけるライフラインや備蓄品等の確認を行い、災害時に使用できる非常用バッテリーを整備しました。

#### (3) リスクマネジメント対策の強化

リスクマネジメント委員会については、本年度開催しませんでした。

## II. 地域福祉課（地域福祉係）

### 1. 地域福祉活動計画

#### （1）第4次名張市地域福祉活動計画の評価、見直し

第4次名張市地域福祉活動計画は、令和2年度から令和6年度までの5か年計画ですが、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、「新たな生活様式」や「人とのかかわり方の変容」などにより『孤独や孤立』が生まれやすい環境が発生し、あらためて、地域福祉活動をいかに進めるかを整理していくことが求められることとなりました。令和5年度は今後の地域福祉推進の方向性を再整理することや第5次名張市地域福祉活動計画にむけた課題整理の機会となるよう、名張市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

構成 メンバー	区分		団体等
	地域代表(住民組織の代表)		名張市地域づくり組織代表者会議
	地域福祉活動団体(民生児童委員の代表)		名張市民生児童委員協議会連合会 障害福祉部会部長(主任児童委員)
	地域福祉活動団体(社会福祉施設の代表)		社会福祉法人名張厚生協会
	地域福祉活動団体(ボランティア関係団体の代表)		名張市ボランティアセンター運営委員会委員長
	行政関係者		名張市福祉子ども部医療福祉総務室
見直しの 概要	令和5年度名張市地域福祉活動計画推進委員会:令和5年6月19日		
	基本目標	地域での孤独・孤立に気づき、つながり、見守る「誰ひとり取り残さない」 地域社会の実現	
	重点事業1	くらし応援ネットワーク事業 1.身近な地域福祉課題の解決に向けた取り組みの基盤整備 [地域の生活・福祉課題を把握] 2.身近な地域で支え合う暮らし支援の取り組みの推進 [地域で支える取り組みを支援] 3.社会福祉法人が協働で取り組む公益的な事業の推進 [社会福祉法人のネットワークで支える基盤づくり]	
	重点事業2	ボランティアセンター事業 1.ボランティアセンターの機能の充実 [ボランティアセンターの基本機能強化と福祉教育の推進] 2.災害ボランティアセンターの機能強化 [災害時に実効性あるセンター運営に向けた基盤整備] 3.地域福祉財源としての赤い羽根共同募金運動の推進 [地域福祉活の継続・拡大に向けた財源の有効活用・配分の在り方の再構築]	
	重点事業3	なばり暮らしんしんセンター事業 1.相談支援体制の強化 [「どこに」「どのようなこと」を相談していいのかわかる相談窓口の周知] 2.住民等と進める個別支援の推進 [自分らしく生きるための多様な就労先等の開拓・マッチングの体制構築] 3.地域で進める権利擁護の推進 [「おひとりさま」時代の望まれる人生に対応できる多様な権利擁護支援]	

### 2. くらし応援ネットワーク事業（一部を生活支援体制整備事業として実施）

#### （1）コミュニティソーシャルワークの推進体制の整備

##### ①生活支援コーディネーターの配置

地域における福祉課題を抱えた方の孤独・孤立防止や生活支援体制整備を推進するため、生活支援コーディネーター1名（名張市委託事業）を配置しました。

②地域担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）の配置

地域福祉係地域担当職員3名が15地域を担当し、地域づくり組織や民生委員児童委員協議会の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、地域福祉の課題解決に向けた取り組みを関係機関とも連携し支援しました。

③推進体系・体制の整備と進捗管理基盤の整備に向けた取り組み（各会議は毎月定例開催）

会議名	主な内容
地域福祉係会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>正規職員が担当業務を中心に進捗状況の報告</li> <li>各事業の進捗管理と実行に向けた工程支援</li> </ul>
推進グループ会議 (地域担当者会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域担当者がアウトリーチした情報・課題の共有</li> <li>生活支援コーディネーターを中心に課題解決に向けた検討協議</li> </ul>
当事者団体等支援会議 (老々、遺族、保護司、身障、なばるの会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体担当者の支援状況、支援課題の共有</li> <li>各団体の年間計画の確認と進捗状況の確認</li> <li>支援の適正化に向けた支援内容の内部チェック</li> </ul>
助成金・資金会議 (共同募金、日赤、善意銀行)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の年間計画（資金募集、助成金対応等）の進捗管理</li> <li>各委員会内容の整理</li> <li>資金状況及び社会情勢を勘案した助成のあり方検討</li> </ul>
貸館・貸出備品会議 (貸館、地域福祉活動備品、おもちゃ図書館)	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸館状況の確認と対応調整、適正・安全管理に係る対応検討</li> <li>備品貸出及び修繕状況等の共有、適正・安全管理に係る対応検討</li> <li>おもちゃ図書館の利用状況・環境整備に係る状況共有と対応検討</li> </ul>

※その他、重点事業ごとに担当者を中心にプロジェクト的なチーム編成を行い、事業に関する相互理解と協働体制による取り組みを行いました。

## （2）アウトリーチによる地域生活福祉課題や支援課題の把握

①各地域へのアウトリーチ状況

（例：地域づくり、福祉部会、サロン等の地域内での会議・活動等）

地域名	主なアウトリーチ場所	延回数	主な福祉課題等、CSWとしての主な関り
薦原	<ul style="list-style-type: none"> <li>出張講座2回</li> <li>配食ボランティア会議1回</li> <li>地域行事（元気度チェック）6回</li> <li>ひとり暮らし高齢者のつどい1回</li> <li>サロン1回</li> </ul>	11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>配食ボランティアの活動負担軽減検討</li> <li>スクエアステップ指導・支援</li> <li>社会資源の把握</li> </ul>
美旗	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクエアステップサロン1回</li> <li>認知症カフェ「めろんカフェ」4回</li> <li>認知症サポートー養成研修1回</li> <li>北中学校みんなで語ろう会1回</li> <li>区長会5回</li> </ul>	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクエアステップ指導・支援</li> <li>社会資源の把握</li> <li>地域福祉課題の把握</li> </ul>
比奈知	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉委員会2回</li> <li>高齢者サロン6回</li> <li>出張まち保3回</li> <li>福祉委員会主催事業1回</li> </ul>	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者サロン活動を通した地域福祉課題の発見</li> <li>社会資源の把握と新規立上げ相談対応</li> <li>出張レク対応</li> </ul>
すずらん台	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサポートクラブ関係15回</li> <li>きずな運営委員会2回</li> <li>はつらつ元気隊3回</li> <li>高齢者サロン4回</li> </ul>	24回	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者サロン活動を通した地域福祉課題の発見</li> <li>社会資源の把握と新規立上げ相談対応</li> <li>今後の地域内の生活支援課題への対応体制</li> <li>出張レク対応</li> </ul>
桔梗が丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>お助けセンター運営委員会3回</li> <li>体操の会への参加1回</li> <li>サロン出前レク7回</li> </ul>	11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>西エリアでのこどもの居場所づくり</li> <li>サロン立上げ支援・継続相談</li> <li>スクエアステップ指導・支援</li> <li>社会資源の把握</li> </ul>

名張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部会 4回</li> <li>・隠おたがいさん関係 12回</li> <li>・高齢者サロン 1回</li> <li>・なばりこども食堂関係 1回</li> <li>・平尾区災害時要援護者情報共有関係検討会 1回</li> </ul>	19回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者サロンや生活支援活動等の見守り活動による地域福祉課題の把握</li> <li>・地域福祉推進に係る事業協力のあり方</li> <li>・地域福祉課題に対する相談対応</li> </ul>
鴻之台希央台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流サロン 1回</li> <li>・中央ゆめづくり委員会 5回</li> </ul>	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者サロン活動を通した地域福祉課題の発見</li> <li>・社会資源の把握と新規立上げ相談対応</li> </ul>
蔵持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちじゅう元気プロジェクト 8回</li> <li>・サロン出前レク 1回</li> <li>・地域づくり事業 1回</li> </ul>	10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前レク対応</li> <li>・社会資源の把握</li> <li>・サロン立上げ及び休止に関する相談対応</li> <li>・地域福祉課題の把握</li> </ul>
梅が丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちじゅう元気プロジェクト 9回</li> <li>・ちょい・すけ役員会 11回</li> <li>・サロン出前レク 1回</li> <li>・地域づくり組織 1回</li> </ul>	22回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン立上げに関する相談支援</li> <li>・スクエアステップ指導・支援</li> <li>・助成金相談対応</li> <li>・ささえあい活動の情報提供</li> <li>・社会資源の把握</li> </ul>
つつじが丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども育成委員会 9回</li> <li>・健康福祉部会 1回</li> <li>・ひだまり運営委員会 4回</li> <li>・高齢者サロン 4回</li> <li>・スクエアステップ体験会 1回</li> <li>・仮称組織検討委員会 4回</li> </ul>	23回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者サロン活動を通した地域福祉課題の発見</li> <li>・地域福祉推進に係る体制のあり方検討</li> <li>・社会資源の把握</li> <li>・各種相談対応</li> </ul>
錦生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部会 2回</li> </ul>	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクエアステップ支援</li> <li>・健康測定打合せ</li> </ul>
赤目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部会 2回</li> </ul>	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍たま広場の内容について</li> <li>・学童保育げんきっず支援</li> </ul>
箕曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部会 2回</li> <li>・地域振興部 1回</li> </ul>	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教室の内容について</li> <li>・市民アンケートの振り返り、検証</li> </ul>
百合が丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちじゅう元気プロジェクト 12回</li> </ul>	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちじゅう元気プロジェクト</li> <li>・参加者を維持するための工夫について</li> </ul>
国津	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ささえあいネットくにつ 8回</li> <li>・高齢者サロン 1回</li> <li>・地域交流サロン 1回</li> </ul>	10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン、ささえあい活動による地域福祉課題の把握</li> <li>・出張レク（スクエアステップ）対応</li> </ul>

## ②民生委員児童委員との連携機会の確保

### ア.名張市民生委員児童委員協議会連合会理事会への参加

理事会へ関係機関として出席することにより、名張市民生委員活動の方向性を確認し、地域福祉を推進する関係構築の機会としました。

### イ.各地区民生委員児童委員協議会への参加

地区名	延回数	主な福祉課題等、CSWとしての主な関り
名張鴻希	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供</li> <li>・地域福祉課題の把握</li> </ul>
蔵持	11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン立上げ相談</li> <li>・情報提供</li> </ul>
北部	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供</li> </ul>
比奈知	10回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供</li> <li>・地域福祉課題の把握</li> </ul>
錦生・赤目	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的孤立者に対するアプローチ</li> <li>・担い手・負担について</li> </ul>
箕曲	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的孤立者に対するアプローチ</li> <li>・民生委員の意識の共有化</li> </ul>
くにつつじ	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供</li> <li>・地域福祉課題の把握</li> <li>・福祉講座への協力</li> </ul>
桔梗が丘	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン相談</li> <li>・ボランティア依頼</li> <li>・情報提供</li> </ul>

※限られた人員のなかで、いかに効率的にアウトリーチしていくかが大きな課題となっています。

※また、単に参加・出席するのではなく、孤独・孤立防止や地域福祉課題の発見・把握のため、

コミュニティソーシャルワーカーとしての視点をもって顔の見える関係性を構築していくことが重要となります。

### (3) 生活支援・見守り活動を実施する各種地域団体等への支援

#### ①配食ボランティア活動

##### ア. 配食ボランティアグループ連絡会の開催

連絡会を通じて、円滑に配食活動を継続するための日頃の悩みや工夫を話し合う機会となりました。また、食材料費確保に向けた物価高騰支援金を9月に交付されるにあたり、名張市と連携して本会が窓口の一本化を行い、連絡会での対応としたことで、負担なく手続きを進めることができました。

第1回 8/7	参加	配食ボランティアグループ8団体16名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材高騰支援について</li> <li>・情報交換会（物価高騰禍での配食活動について）</li> </ul>
第2回 2/29	参加	配食ボランティアグループ7団体13名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動助成事業について（報告、申請、令和5年度配食数調査）</li> <li>・情報交換会（配食利用料について、寄附（食材・物品）意向確認）</li> </ul>

##### イ. 配食ボランティアグループ会議への参画

薦原地域	・配食ボランティアの活動負担軽減に向けた懇談会（9/4）
	・薦原地域づくり委員会、配食ボランティアグループ、社協

##### ウ. 安心・安全な配食活動に向けた取り組み衛生管理研修会の実施

衛生管理研修会の実施	・テーマ：配食ボランティア活動の衛生管理で気をつけたいこと（食中毒を発生させないためのポイント）
	・講師：伊賀保健所
	第1回 8/2 3団体45名
	第2回 9/7 7団体18団体

#### ②ふれあい・いきいきサロン

##### ア. ふれあい・いきいきサロン交流会の開催

交流会を通じて、サロンを運営していく上での課題を把握・共有することができました。また課題解決に向けた工夫やアイデアについて、地域を越えて検討する機会となりました。

第1回 2/29	参加	31サロン44名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動発表 比奈知地域高齢者サロン「たんぽぽクラブ」</li> <li>・チラシ講座 介護保険の現状と介護現場から見るサロン効果とは</li> <li>・意見交換会（サロン活動を進めるうえでの課題・アイデア）</li> </ul>

#### ③地域ささえあい活動

##### ア. 地域ささえあい活動連絡会の開催

連絡会を通じて、地域主体で地域ささえあい活動を運営していく上での課題を共有・整理する機会となりました。

参加	令和6年3月21日 ・10活動団体15名
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路運送法一部改正にかかるガイドラインについて</li> <li>・令和6年度ボランティア保険 等</li> <li>・情報交換会（活動運営に関する現状について）</li> </ul>

##### イ. 地域ささえあい活動における課題に対する意見交換会の開催

参加	令和5年5月22日 ・すずらん台地域ライフサポートクラブ 3名 ・桔梗が丘地域お助けセンター 2名
	「自家用車を活用した外出支援の運営方法について」をテーマに意見交換会を実施

#### ④地域の居場所づくり

今年度は「子どもの居場所づくり」としての子ども食堂活動への理解とネットワーク構築に努めました。

地域・子ども食堂懇談会 10/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：各団体の活動現状と名張市内の子ども食堂のネットワーク化について</li> <li>・参加者：4団体7名</li> </ul>
くらしあんしん講座 11/11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：こども食堂の活動を広く理解してもらうことを目的</li> <li>・テーマ：食べること・生きること・つながること ～私たちができるミライ応援団～</li> <li>・主催：コーポみえ伊賀センター</li> <li>・共催：名張市社会福祉協議会、伊賀市社会福祉協議会</li> <li>・第1部：取り組み報告（コーポみえ）</li> <li>・第2部：グループワーク (講師：皇学館大学 准教授 大井智香子氏)</li> <li>・参加者：29名</li> </ul>

#### ⑤生活支援・介護予防の担い手養成・活動支援

日常生活支援の担い手となる地域ささえあい活動者に向けた研修や、スクエアステップリーダーの支援に努めました。

つながりワーカー養成研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：地域で孤独・孤立な人に気づき、つながり、つなげ、見守る</li> <li>・実施内容：演習・グループワーク</li> <li>・実施方法：対象者別に4回開催</li> <li>・講師：特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター</li> </ul>			
	第1回	10/25	生活支援員養成研修新規受講者 名張市傾聴ボランティア活動者	14名
	第2回	2/22	名張市ささえあい活動者 ボランティア活動者	16名
	第3回	2/29	配食ボランティア活動者	14名
	第4回	3/1	生活支援員	14名
スクエアステップリーダー支援	スクエアステップリーダーが活動しているサロン等に訪問し、スクエアステップ指導員資格を有する職員による支援・補助を行いました。			
	訪問地域	薦原、名張、つつじが丘、梅が丘、すずらん台、桔梗が丘、美旗		延16回

#### （4）救急医療情報キットの活用による要援護者の把握

救急医療情報キットについては、民生委員児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて、記入様式に適切な情報を入れているのか取り扱いに関する声掛けを行ってもらい、漏れのない見守りの仕組みづくりをすすめました。

##### ①救急医療情報キットの登録実績

令和5年度申込	355世帯・513名
利用者総数	4,316世帯・5,989名

##### ②救急医療情報キット登録者拡大に向けた取り組み

出張相談 9/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポみえ伊賀センター主催「くらし活動交流会」で相談コーナー設置</li> <li>・救急医療情報キットの案内、申込受付</li> <li>・新規申込7件、検討6件、パンフレット持ち帰り25件</li> </ul> <p>※今年度初めて出張相談会を実施したところ、高齢者世代以外に生活や健康面に不安を抱える40代前後の方にも関心をもっていただきました。</p>
--------------	--

### 3. ボランティアセンター事業・福祉まちづくりセンター事業

#### (1) ボランティアコーディネーターの配置と福祉まちづくりセンターの運用

地域での見守り活動やボランティア活動への支援強化を図るため、ボランティアコーディネーターを1名配置しました。また、福祉まちづくりセンターをショッピングセンターリバーナ3階に設置し、10時から19時まで（土日祝含め）開設することにより、ボランティア相談やボランティア活動保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることに取り組みました。

#### (2) ボランティアセンターの登録状況

登録団体数	182団体	個人ボランティア数	90名
-------	-------	-----------	-----

#### (3) ボランティアセンター運営委員会

市民のボランティアに対する理解と関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行うと共に、ボランティア相互の連携を図り、地域福祉の推進に寄与することを目的とするボランティアセンターの円滑な運営とボランティア活動の推進を図りました。

運営委員会メンバー	高齢者サロン（いきいきサロンどんぐり）
	高齢者サロン（いきいきサロン赤とんぼ）
	子育てサロン（すずらん台ちびっこクラブ）
	地域ささえあい活動団体（お助けセンター）
	配食ボランティア団体（配食ボランティアグループ竹とんぼ）
	名張市ボランティア連絡協議会
	ボランティア団体（MAMA'S あい）
第1回 5/24	個人ボランティア
	・令和4年度名張市ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンター事業報告
	・令和5年度名張市ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンターの取り組みについて
第2回 8/3	・ふれあいフェスティバル実行委員会の選出について
	・第53回名張市社会福祉大会における被表彰者の推進について
	・福祉まちづくりセンター第一四半期実績報告について
	・ふれあいフェスティバルの開催について
	・福祉の職場体験の実施について
	・災害ボランティアセンター入門講座、スキルアップ研修の開催について
第3回 2/7	・災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施について
	・福祉まちづくりセンター休止について
第4回 3/25	・福まちづくりセンター事業実施状況について
	・令和5年度名張市ボランティアセンター及び福祉まちづくりセンター事業実施状況について
	・令和6年度名張市ボランティアセンター事業の推進について
	・令和6年度名張市ボランティアセンター運営委員会について

#### (4) ボランティアコーディネート（福祉まちづくりセンター実績）

##### ①ボランティア相談実績 (件数)

区分	主な相談内容	新規	継続	計
ボランティア依頼	・イベント開催に伴うボランティア依頼	150	107	257
ボランティア希望	・ボランティア希望の方の相談受付	38	11	49

	・ボランティア保険加入に伴う登録			
活動支援	・名張市ボランティア連絡協議会への取次 ・各団体の活動に関する相談受付 ・イベント取材の調整	245	35	280
情報提供	・イベント予定表の配布 ・イベント問合せ	30	1	31
情報発信	・福まち新聞の発行	6	1	7
その他	・貸室、貸館の問合せ等	19	1	20
	計	488	156	644

②ボランティア以外相談実績 (件数)

区分	主な相談内容	新規	継続	計
情報提供等	・子ども支援センターかがやきとの連携	196	0	196
社協事業問合せ	・リバーナホール問合せ対応 ・ふれあいフェスティバル参加協力	717	48	765
受付（申込等）	・貸室受付 ・ボランティア保険加入 ・おむつゴミ袋申請等	587	2	589
問合せ（軽微なもの）	・イベントボランティア問合せ ・備品貸出について ・イオンの売り場について	107	4	111
助成受付	・助成事業の申請相談、受付支援	30	1	31
その他	・日常的な活動についてのやり取り等	89	0	89
	計	1,726	55	1,781

③地域福祉活動支援備品の貸出

貸出件数	454件 ・プロジェクト、模擬店機材等：347件 ・地域福祉教育備品：10件 ・楽器等：97件
延べ貸出団体数	195団体 ・地域づくり組織：14団体 ・サロン関係：15団体 ・福祉団体：5団体 ・学校：5校 ・ボランティア団体：14団体 ・自治会：17団体 ・当事者団体：2団体 ・その他：123団体

(5) 広報啓発

福まち新聞	月1回（1日発行）Vol. 173～184（号外を含む13回）
情報発信、啓発 (随時)	・ホームページや、X（旧Twitter）による情報発信 ・地域の広報紙やボランティアに関するチラシ等の設置 ・イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示 ・センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示

(6) 福祉まちづくりセンター（ボランティアセンター・サテライト）の活用

①福祉まちづくりセンター窓口延利用者数

窓口延利用者数	1,425名
---------	--------

②会議室等利用実績

利用件数	利用団体	利用者数
84件	56団体	513人

③イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、「椅子に座っ

て健康体操」「歌声広場たんぽぽ」「脳トレ練習」など、気軽に参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に取り組みました。

イベント内容	開催回数	参加延べ人数
シャドーボックスづくり	41回	389人
楽しく書道	34回	139人
簡単ヨガ	22回	113人
歌声広場たんぽぽ	12回	258人
歌声広場たんぽぽ（コーラス）	12回	94人
椅子に座って健康体操	12回	196人
脳トレ練習教室	21回	73人
スクエアステップ教室	23回	311人
介護者サロン「さくら喫茶」	14回	78人
その他	178回	1,058人
計	369回	2,709人

#### ④イベント等ボランティア活動の場づくり事業

地域の方にボランティアセンターを知ってもらい、ボランティアと参加者が「つながり」をつくる場となるようなイベントを実施しました。

イベント内容	開催日	参加人数
こどもなんでも体験団 「七色に変化するXmasツリーワーク」	12月17日（日）	15名 (応募者46名より抽選)
「おもちゃ図書館&おもちゃばこ」 合同クリスマス会	12月17日（日）	こども14名、大人10名 ボランティア10名

#### ⑤交流事業

イベント内容	開催日	参加人数
おもちゃばこ	第2・4日曜日	保護者103名 子ども146名 ボランティアの参加（個人25名）
さくら喫茶	毎月1回（計11回）	参加者62名 ボランティア11名
介護者のつどい	3月21日（木）	会員9名、民生他9名、ボランティア1名、指導員3名

※「さくら喫茶」「介護者のつどい」については家族介護者の会「楓の会」との共催事業

### （7）ボランティア活動・地域福祉の担い手養成

地域でボランティアに関心のある人が活動を通して多様なつながりを作ることができるよう養成研修を実施しました。

シニアボランティア (フレイル予防サポーター) 養成	名張市老人福祉センターふれあい のマシン・トレーニング教室初回で行う「体力測定」での誘導・見守り・簡単な補助サポート 申込者数：1名
地域福祉担い手養成 (生活支援員・傾聴ボランティア)	日 程：10月11日、10月25日（2日間） 場 所：名張市総合福祉センターふれあい 参加者数：25名（内、傾聴ボランティア登録者 3名）

### （8）ふれあいフェスティバルの開催支援

ボランティア団体や個人ボランティアの活動を多くの市民に知ってもらうためのPRや情報交換を行い、ボランティア同士の交流と活性化を図ることと、市民がボランティアとの交流を通じてボランティア参加するきっかけの場となることを目的に実施しました。

## ①ふれあいフェスティバルの開催支援

開催日	イベント内容	参加数
令和5年 11月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンター登録団体・個人によるブース出展</li> <li>・ボランティアセンター登録団体・個人によるステージ発表</li> <li>・ボランティアセンター登録団体・個人によるパネル展示</li> <li>・スタンプラリー</li> <li>・共同募金による模擬店出店</li> <li>・名張市老人福祉センター「ふれあい」施設紹介及び介護予防啓発</li> </ul>	約400名

## ②ふれあいフェスティバル実行委員会の開催

実行委員会の構成メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市ボランティア連絡協議会</li> <li>・名張市ボランティアセンター登録個人ボランティア</li> <li>・名張近鉄ガス株式会社</li> <li>・名張市社会福祉協議会</li> </ul>
第1回 6/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長、副委員長の選出について</li> <li>・令和5年度ふれあいフェスティバル開催について</li> <li>・開催方法及び今後の日程について</li> </ul>
第2回 7/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、ポスターについて</li> <li>・スタンプラリーについて</li> <li>・舞台発表について</li> <li>・ボランティアの交流について</li> </ul>
第3回 9/5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、ポスターについて</li> <li>・各ブース出展・発表について</li> <li>・事前説明会について</li> </ul>
第4回 10/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報等の個人情報の取扱いについて</li> <li>・実行委員会の役割について</li> <li>・スタンプラリーカードについて</li> <li>・事前説明会について</li> </ul>
第5回 12/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度ふれあいフェスティバルを終えて</li> <li>・令和6年度ふれあいフェスティバルの開催について</li> </ul>

## (9) 名張市ボランティア連絡協議会との連携

ボランティア連絡協議会への参加団体数	10団体
ボランティア連絡協議会定例会への参画	11回

## (10) 福祉教育の充実と推進

### ①福祉協力校連絡会

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催しました。

令和5年度 福祉協力校数	20校（小学校：14校、中学校：5校、特別支援学校：1校） ※各校の福祉教育担当職員の参画
第1回 令和5年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市福祉協力校連絡会について</li> <li>・各学校での福祉教育の実施計画について</li> <li>・令和5年度名張市社会福祉協議会事業計画について</li> </ul>
第2回 令和6年3月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校での福祉教育の活動について</li> <li>・令和5年度名張市社会福祉協議会事業報告について</li> </ul>

### ②福祉協力校との連携による「出前講座」等の開催

学校名	実施日	対象	人数	内容
名張小学校	7/12	4年生	60名	・名張市総合福祉センターふれあい施設見学
つつじが丘小学校	9/26	4年生	102名	・視覚障がい者体験

	9/29			・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
百合が丘小学校	9/28	4年生	63名	・視覚障がい者体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
藏持小学校	10/23 11/27	5・6年生	10名	・視覚障がい者体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
箕曲小学校	11/15	4年生	12名	・高齢者疑似体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
桔梗が丘東小学校	12/4	4年生	30名	・視覚障がい者体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
桔梗が丘南小学校	1/15	4年生	49名	・視覚障がい者体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
錦生赤目小学校	2/14	4年生	27名	・視覚障がい者体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
北中学校	9/19	1年生	90名	・視覚障がい者体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
名張中学校	1/24 1/25	1年生	171名	・視覚障がい者体験 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザイン紹介等
延参加者数		614名		

③「福祉体験」振り返り授業への参画

学校名	実施日	対象	内容
箕曲小学校	12/5	4年生	・福祉体験の振り返り
桔梗が丘南小学校	1/30	4年生	・福祉体験の振り返り

④名張市社会福祉法人連絡会との連携による「夏休み福祉の職場体験」の開催

受入期間	夏休み期間（8月1日～8月31日）			
内容	各施設の1日体験			
体験者実数	中学生：12名 高校生：18名 計：30名			
分野	受入申出施設類型	延べ受入日数	延参加者（中学生）	延参加者（高校生）
高齢者福祉	養護老人ホーム	1日	0名	3名
	特別養護老人ホーム	4日	3名	1名
	デイサービス	1日	1名	3名
	老人保健施設	0日	0名	0名
児童福祉	保育園	11日	9名	9名
	こども園	3日	0名	10名
障がい福祉	障害児入所施設	1日	0名	1名
	放課後等デイサービス	2日	2名	2名
	就労継続支援事業B型	2日	2名	1名
計		25日	17名	30名

(11) 災害ボランティアセンターの運営

名張市災害ボランティアセンターの運営体制の充実強化のため運営委員会を設置し、災害ボラ

ンティアセンター設置・運営マニュアルを策定するとともに、災害ボランティアを対象とした研修会を開催しました。

①災害ボランティア登録

個人	89名	団体	1団体
----	-----	----	-----

②名張市災害ボランティアセンター協定団体

協定団体数	4団体
団体名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張ライオンズクラブ</li> <li>・名張商工会議所青年部</li> <li>・名張青年会議所</li> <li>・名張市</li> </ul>

③災害ボランティアセンター運営委員会

運営委員の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市ボランティア連絡協議会</li> <li>・みえ防災市民会議伊賀ブロック</li> <li>・災害ボランティアバイク無線隊</li> <li>・名張市民生委員児童委員協議会連合会</li> <li>・名張市（危機管理室・医療福祉総務室・多文化共生センター） (オブザーバー：伊賀市災害ボランティアセンター)</li> </ul>
第1回 5/31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状の交付</li> <li>・令和4年度災害ボランティアセンター事業報告について</li> <li>・令和5年度災害ボランティアセンターの取り組みについて</li> <li>・5/5 能登地方を震源とする地震に関する状況報告</li> <li>・名張市社会福祉法人連絡会 災害時協定について</li> </ul>
第2回 7/14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度災害ボランティア入門講座について</li> <li>・令和5年度災害ボランティアスキルアップ研修について</li> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練の日程について</li> <li>・大雨災害について</li> <li>・災害備品について</li> <li>・令和5年度災害時外国人住民支援事業について</li> </ul>
第3回 3/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度災害ボランティアセンター事業実施状況について</li> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営訓練の振り返り</li> <li>・令和6年能登半島地震への対応と職員派遣の報告</li> <li>・令和6年名張市災害ボランティアセンター事業の方向性について</li> </ul>

④災害ボランティア研修会

平時から連携・協働を図り、支え合いなどの「地域力」を養っていく必要があることから、災害ボランティアを対象とした研修会を開催しました。

災害ボランティア 入門講座	目的	災害に関する基礎的な知識を習得することにより、災害ボランティアに関心を持つ市民を増やし平時からボランティア、市民活動団体等の様々な分野や立場で活動している人たちが連携・協働を図り、支え合う「地域力」を養うことを目的として開催
	実施日	令和5年9月24日（日）
	講演	「名張市周辺に想定される災害と防災対策について」 講師：名張市危機管理室防災担当監 伊藤博一氏
	参加者	22名（内登録者：15）名
災害ボランティア スキルアップ研修会	目的	災害ボランティアとしての資質向上と、災害時の災害ボランティアセンターを立ち上げる力を目的に、近年災害ボランティアセンターの運営に導入されているICTの有効性と可能性を学ぶ
	実施日	令和5年10月7日（土）
	対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市災害ボランティアセンター登録ボランティア</li> <li>・名張市災害ボランティア協定機関</li> <li>・名張市災害ボランティア入門講座修了者</li> <li>・名張市災害ボランティアセンター運営委員</li> <li>・社協職員</li> </ul>

	講演	・各地の災害ボランティアセンターの実践について ・災害ボランティアセンターでのＩＣＴ活用について 講師：合同会社 HUGKUMI 長井一浩氏 小島寛氏
	参加者	34名

#### ⑤災害ボランティアセンター設置・運営訓練

災害発生時における名張市災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に向け、運営手順の確認と検証及び今後に向けての課題抽出を行うことを目的に災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

事前説明会	目的	訓練を円滑に行うため、参加予定者を対象に事前オリエンテーションを実施
	実施日	令和5年12月5日（火）
	参加者	21名
設置・運営訓練	目的	頻発する自然災害において全国で災害ボランティアセンターが設置されている。発災時に災害ボランティアセンターを円滑に設置・運営できることを目的に実施する。今年度は各地で運用されているＩＣＴの実効性の検証も含め、三重県社協との共催で実施。
	実施日	令和5年12月10日（日）
	内容	午前中に設置訓練、午後に運営訓練 スキルアップ研修での学びを実践することで、ＩＣＴ運用の実効性や活用の可能性を関係者で共有する機会とする ・講師：合同会社 HUGKUMI 長井一浩氏 小島寛氏 ・オブザーバー：名張市危機管理室防災担当監 伊藤博一氏
	参加者	81名 ・災害ボランティアセンター登録者：28名 ・運営委員会委員：8名 ・三重県社協及び県内8市町社協職員：12名 ・名張市：5名 ・名張市社協職員：28名 (地域福祉課職員だけでなく、介護・保育分野も参加)

#### ⑥広域的な取り組み基盤の整備

三重県社会福祉協議会 災害時広域連携協議会との連携	津・伊賀ブロック（津市・伊賀市、名張市）会議への出席：4回
三重県社会福祉協議会 災害広域連携強化（IT強化） 事業モデル受託	令和5年度・6年度の2か年事業 ・ＩＣＴを活用した災害ボランティアセンター運営及び外部支援の仕組みづくりを検証 ・県内社協で実施 ・会議及び研修会

※令和5年度に実施したスキルアップ研修、設置・運営訓練や三重県社協のモデル事業で運用検証している「kintone システムの活用」は、令和6年能登半島地震で石川県において運用されているシステムと同様のものであり、今後三重県社協においても県内全域での運用を目指し整備する予定となっています。

#### ⑦令和6年能登半島地震への職員派遣

派遣種別	派遣先	職員	派遣期間	参加数
社協ブロック派遣	輪島市社協	ボランティアコーディネーター1名	3/6～3/12 7日間	輪島市たすけ合いセンターでの運営支援、ニーズ調査等
DWAT 派遣	輪島高校	看護師1名	3/16～3/21 6日間	避難所におけるニーズ調査及び避難者支援

※DWAT：災害派遣福祉チーム

## 4. 福祉団体等当事者活動支援

### (1) 福祉団体等との連携・協働の強化、当事者活動支援

#### ①福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体（老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会）との「事務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議への出席等各福祉団体と連携することにより、各団体活動が円滑に実施することができました。

#### 【支援状況】

福祉団体名	支援状況	主な活動支援
老人クラブ連合会	27回	・事務局運営・各種会議等の支援 ・事務事業補助 ・資料の管理・保管等
身体障害者互助会	16回	・各種会議等の支援 (総会、会計監査、執行部会、地区役員会等) ・親睦旅行への同行、伊賀名張交流会 ・会計事務補助、文書收受、各種とりまとめ等
遺族連合会	10回	・文書などの作成支援 ・事務事業補助 ・資料の管理・保管
保護司会	68回	・役員会・部会の開催支援 ・社会を明るくする運動行事開催支援 ・関係機関との調整等

#### 【適正な支援】

- ・全社協「受託事務団体の出納業務や利用者等からの預かり金品の管理に関する6つのチェックポイント」に準拠した運用を行いました。

#### ②家族会等の活動支援

##### ア. 家族介護者の会「楓の会」運営支援

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに「さくら喫茶」や「介護者のつどい」を共催で行いました。

##### イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、毎月1回定例会に出席し、円滑な事業実施に向け、部屋・備品の手配等活動支援を行いました。また、疑問や問題に対して情報提供等の支援に取り組みました。

#### ③障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

##### ア. 三障がい（知的・精神・身体）を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局としての支援を行いました。

月	項目	内容
4月	第1回実行委員会（4/20）	令和5年度第20回大会について ・実施について ・大会内容について
	第1回アンケート	実施の有無についてのアンケート
5月	第1回三役会（5/12）	令和5年度第20回大会について ・実施について
	第2回実行委員会（5/23）	令和5年度第20回大会について ・令和5年度大会の開催について ・今後の実行委員会の開催について
8月	参画施設による検討（8/21）	意見交換会

		・実施内容　・感染対策　・その他配慮事項等
9月	第2回アンケート	実施するまでのプログラム内容、配慮事項
11月	第2回三役会（11/16）	令和6年度大会について及び予算案について
12月	第3回実行委員会（12/4）	令和6年度大会について及び予算案について

※各種会議及び、アンケート結果等により、「第20回大会」については中止となりました。

#### ④とれたて名張交流館事業への参画

とれたて名張交流館運営協議会へ参画し、「とれなば」の健全な運営に向け販売啓発品を出店団体に生産依頼し、高齢者や障がい者団体への支援を行いました。

「とれなば」への出展団体数	14団体
運営協議会等への参画状況	総会：3回 運営委員会5回

#### ⑤追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会主催における追悼式開催へ助成を行いました。

9地区	名張、箕曲、比奈知、薦原、蔵持・川西梅が丘、錦生、国津、美旗、赤目
-----	-----------------------------------

#### ⑥おもちゃ図書館事業を通した子育て支援活動

##### ア.おもちゃ図書館の運営

開館日数	194日
利用者数	388名(大人171名、子ども217名)
協力ボランティア	1名(活動日数 2日)
環境整備	・新しいおもちゃの購入及び年齢に応じたおもちゃの整理 ・ラグマットの購入、ボランティアによる手作り座布団カバー
安全面	コーナーガード、コンセントキャップカバーの取付

※おもちゃ図書館の運営基盤の整備に向けて、昭和保育園及びこども支援センターかがやきを見学しました。

##### イ.おもちゃ図書館事業を活用した交流事業の実施（再掲）

おもちゃばこ	第2・4日曜日	保護者103名 子ども146名 ボランティアの参加（個人25名）
「おもちゃ図書館&おもちゃばこ」 合同クリスマス会	12月17日（日）	こども14名、大人10名 ボランティア10名

## （2）名張市社会福祉法人連絡会の運営支援

地域における公益的な取り組みが社会福祉法人の責務として位置づけられていることを受け、地域課題の改善・解決を目指す地域福祉の担い手として、法人間の連携・協働による公益活動を推進しました。

#### ①事務局運営支援

参画法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人鶯鳴会</li> <li>・社会福祉法人おきつも福祉会</li> <li>・社会福祉法人グリーンセンター福祉会</li> <li>・社会福祉法人敬親会</li> <li>・社会福祉法人敬峰会</li> <li>・社会福祉法人弘仁会</li> <li>・社会福祉法人こもはら福祉会</li> <li>・社会福祉法人サンフラワー名張</li> <li>・社会福祉法人つつじ会</li> <li>・社会福祉法人東海宏和福祉会</li> <li>・社会福祉法人名張育成会</li> <li>・社会福祉法人名張厚生協会</li> </ul>
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人名張市社会福祉協議会</li> </ul> <p>※市内15法人のうち13法人が参画</p>		
各種会議の運営	総会	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画、予算</li> <li>・災害時協定締結式</li> </ul>
	役員会	9回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画、調整、進捗管理</li> <li>・全体会、部会運営の調整</li> <li>・介護事業部会設立協議</li> </ul>
	全体会	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業進捗報告</li> <li>・意見交換</li> </ul>
	子ども部会	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催について</li> <li>・次年度事業について</li> </ul>
	広報部会	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ運営</li> <li>・ヤングケアラーリーフレット作成</li> </ul>
財源確保	名張市善意銀行における公益的な取り組みに対する助成金を活用		

## ②社会福祉法人による公益的な取り組み（連携事業）の企画・推進支援

災害に強い法人づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害協定締結に向けた支援</li> <li>・名張市における福祉避難所設置運営について</li> </ul>
福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉の仕事」出前講座：1件（名張中学校）</li> <li>・「働く人から学ぶ会」（南中学校）</li> </ul>
市民向け研修会等の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングケアラーについて知っていますか 講師：ふうせんの会 参加者：80名</li> <li>・健康寿命を延ばして生きる 講師：名張厚生協会みさと園看護師</li> </ul>
事業所・職員向け研修会等の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的養護の理解と子どもの相談支援について</li> <li>・外国人雇用の知識と業務のDX化について</li> </ul>

## 5. 地域福祉活動助成事業

### （1）地域福祉活動助成事業

社協会費、共同募金配分金、善意銀行寄附金等を財源とした福祉活動等への助成を行うことにより、各団体の福祉活動を支援しました。

助成区分	助成額	財源及び件数
地域見守り配食事業	1, 913, 800円	共同募金配分金+善意銀行（8件）
地域見守り事業	2, 330, 000円	共同募金配分金（75件）
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	100, 300円	補助金（4件）
ボランティア活動事業	955, 000円	共同募金配分金（28件）
福祉協力校活動事業	490, 000円	共同募金配分金（20件）
当事者・家族会活動事業	85, 000円	善意銀行寄付金（4件）
計	5, 874, 100	139件

※配食ボランティアグループに対して、名張市と協議・連携し、共同募金配分金を財源として名張市配食ボランティア活動食材等高騰臨時支援金を交付し、配食活動を支援しました。

助成内容	金額	実施先
名張市配食ボランティア活動食材等高騰臨時支援金	482, 160円	市社協（9件）
名張市高齢者配食サービス活動費補助金	586, 628円	市（9件）

### （2）各地域づくり組織への福祉活動助成

社協会費、共同募金、赤十字活動資金の納入実績に応じて助成を行うことにより、各地域づくり組織の福祉活動を支援しました。

助成内容	金額
社協会費の納入実績に応じた助成	2, 823, 080円
共同募金の納入実績に応じた助成	1, 262, 100円
赤十字活動資金の納入実績に応じた助成	636, 200円
計	4, 721, 380円

### (3) 島根たすけあい運動配分事業

島根たすけあい運動配分金及び三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクト配分金を財源とし、児童養護施設の子どもたちの進学、就職支援や配食ボランティア活動、地域づくり組織の友愛訪問、障害者福祉施設やサロン等への助成を実施し、年末年始の福祉活動等を支援しました。

配分区分	配分金	配分件数
暮らし支援事業	210, 000円	42件
新生活応援事業	680, 000円	17件
配食ボランティア活動支援	450, 000円	9件
地域づくり組織友愛訪問活動支援	280, 000円	14件
ふれあいいきいきサロン活動支援	285, 000円	57件
子育て支援事業	200, 000円	26件
当事者・家族会支援事業	210, 000円	7件
福祉施設交流事業	275, 000円	16件
広報・啓発事業	85, 091円	
計	2, 675, 091円	188件

※財源：島根配分金（子育て支援事業のみ、島根配分金+百貨店配分金）

## 6. 名張市共同募金委員会事業

### (1) 名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、名張市共同募金委員会を開催しました。

運営委員会 メンバー構成	地域の活動者代表	名張市地域づくり代表者会議 名張市民生委員児童委員協議会連合会
	三障がい者団体代表	名張市身体障害者互助会
	商工団体	名張商工会議所
	福祉教育関係	名張市小中学校長会
	ボランティア団体代表	名張市ボランティアセンター運営委員会
	募金協力企業	株式会社ユー
	募金協力団体	名張ライオンズクラブ
	社会福祉法人代表	名張市社会福祉法人連絡会
	社会福祉協議会	名張市社会福祉協議会
会計監査 5/12	・令和4年度三重県共同募金会名張市共同募金委員会事業報告書 ・令和4年度三重県共同募金会名張市共同募金委員会決算報告書	
第1回 5/29	・令和4年度事業報告並びに決算の認定について ・令和4年度共同募金[令和5年度充当]配分事業第1次修正計画について ・令和5年度共同募金[令和6年度充当]配分事業計画について ・令和5年度年末たすけあい運動配分事業計画について ・令和4年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定及び令和5年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について	

第2回 7/5	・共同募金委員会の会長及び副会長・監事の選任について ・令和5年度共同募金関係功労者等の顕彰推進について
第3回 8/23	・令和5年度共同募金運動の計画について
第4回 11/28	・令和5年度事務費補正予算について ・令和5年度歳末たすけあい運動配分事業配分申請に係る審査について
第5回 2/28	・令和5年度災害義援金補正予算について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度事務費予算について

## (2) 名張市共同募金運動の展開

### ①地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

### ② 法人募金の取り組み

市内企業を中心に訪問等により協力依頼しました。また、(株)ユー(伊賀タウン情報ユYOU)による、紙面広告にあわせての法人募金の取り組みへの協力をいただきました。

### ③共同募金実績

募金の種類	募金額	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	6,324,567円	全世帯協力依頼
街頭募金	206,548円	市内スーパー等14店舗にて29ヵ所実施(協力延べ131人)
法人募金	1,103,579円	市内の企業等へ依頼(依頼257法人、協力124法人)
学校募金	99,734円	小学校14校、中学校5校、高校2校、高等専門学校1校 特別支援学校1校、通信制高校1校へ依頼
職域募金	549,919円	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼 (依頼45職域、協力36職域)
イベント募金	175,149円	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発(6ヵ所)
個人募金	375,693円	個人での協力やバッジ等の共同募金啓発グッズ、(初音ミク・ドラえもん・プリキュア等のクリアファイル)募金機能付き自動販売機による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置(協力110件)
その他	126,852円	UMOU募金(主に市内から羽毛製品の回収6点)、寄付金付自動販売機
計	8,962,041円	

### ④歳末たすけあい募金実績

募金の種類	募金額	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1,769,767円	全世帯協力依頼
個人募金	1,111,188円	名張市仏教会様、他1件より寄附
計	2,880,955円	

### ⑤新しい募金方法の取り組み

#### 【赤い羽根募金百貨店プロジェクト】

参加企業から地域住民へ寄附付商品を提供し、収益の一部を募金していただく三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクトの取り組みをすすめました。新たに2企業にご参加いただきました。

参加企業	寄附付商品内容	募金額
9企業	食事代、宴会代や販売収益の一部を寄附	142,950円

#### 【赤い羽根自動販売機の設置】

飲料メーカーのご協力をいただき、9台の社会貢献型自動販売機による募金活動を推進し

ました。

#### ⑥災害義援金・支援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、各県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

##### 【義援金】

義援金名称	受付期間	本年度送金額
令和5年5月能登半島地震災害義援金	令和5年5月10日 ～令和5年9月29日	40,432円
沖縄県令和5年台風第6号災害義援金	令和5年9月5日 ～令和5年11月30日	1,387円

##### 【支援金】

支援金名称	受付期間	本年度送金額
災害ボランティア・NPO活動サポート募金 (ボラサポ・令和6年能登半島地震)	令和6年～	40,000円

#### ⑦共同募金を活用した社協主催事業

##### ア. 広報、啓発事業

名張市社会福祉大会を名張市と共に開催し、社会福祉活動等に功績のあった個人・団体に感謝の意を示し、顕彰いたしました。また、社協だより「ほほえみ」へ共同募金の計画や報告等の掲載による啓発を行いました。

ふれあいフェスティバルを開催しました。今年度は、模擬店等の出店数を増やし、おもちゃ図書館を開放してボランティアによる絵本の読み聞かせも行いました。またスタンプラリーをするなど、ボランティア同士や市民の方との交流を通じて、ボランティア活動等について体験・周知することができました。

##### イ. 当事者等支援事業

在宅介護者が日頃の悩みや介護体験を相互に交流することにより、心身のリフレッシュや各種情報交換を図ることを目的に、介護者のつどいを開催しました。

介護者のつどい	ボッチャ大会&交流会 開催日：3月21日（木）　名張市総合福祉センター　ふれあいホール 参加者：19名
---------	---

#### ⑧共同募金運動と地域福祉推進強化のための配分の在り方の検討

三重県共同募金会より、配分要綱等の見直しが行われ、10項目の対応策と17項目の取り組み内容が取りまとめられました。これに基づき、時代のニーズに応える事業として、名張市共同募金委員会において事業の点検・見直しをし、継続や見直し、廃止を判断し、配分事業の実施結果について検討を行いました。

## 7. 善意銀行事業

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、運営委員会を開催し、善意銀行の運営・管理を行いました。

#### ①名張市善意銀行運営委員会の開催

第1回 6/7	・令和4年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について ・令和4年度名張市善意銀行実績報告の認定について ・令和5年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について ・令和5年度名張市善意銀行配分支出補正予算（案）について
第2回	・令和5年度寄附状況と配分（支出）状況について

3/15	・「地域福祉活動助成事業」並びに「名張市善意銀行設置及び管理運営規程」の一部改正について ・令和6年度名張市善意銀行 補正予算について
------	--

②寄附受領実績

種別	件数	金額・物品
現金寄附	14件	867,993円
物品寄附	1件	車いす1台

③善意銀行事業による助成実績

事業内容	金額	備考
罹災者救援要綱に基づく見舞金	20,000円	1件
地域見守り配食事業	682,900円	2団体
福祉活動備品整備事業	0円	申請なし
当事者・家族会活動事業	85,000円	5団体
車イス一時貸出事業	443,300円	修理、点検、消毒、廃棄、購入
社会福祉の増進に資する事業	300,000円	1件
指定寄附	100,660円	子ども食堂
計	1,631,860円	

④車いす無料貸出事業

車いすが一時的に必要な方で各種制度の利用に該当しない方を対象に無料で貸出を行いました。

【貸出実績】

使用目的	貸出件数
通院・通学・通勤	49件
買い物・行楽・旅行	35件
その他（外出等）	45件
計	129件

【適正な運営管理】

管理項目	貸出件数
修理・点検・消毒	18件
廃棄	12件
購入	10件

※老朽化した車いすを廃棄し、新たに車いすを善意銀行財源により購入しました。

※適正な運営管理のため、貸出要綱を見直しました

## 8. 日本赤十字社名張市地区事業

①日本赤十字社名張市地区事業

日本赤十字社活動資金募集の為に地域づくり組織や市内法人等に協力依頼文章の配布、電話でのお願い、訪問でのお願い等に取り組みました。結果、総額7,457,340円を集めることができ、地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より636,200円を助成しました。

【日赤活動資金の実績】

活動資金の内容	金額
各世帯	6,362,415円
法人	691,000円
個人・口座振替	403,925円
合計	7,457,340円

②活動資金募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4月から5月にかけて15地域の会合に出向き、年間通じて取り組む各種資金募集への協力を依頼しました。

③地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より助成しました。

地域づくり組織への福祉活動助成	636, 200円
-----------------	-----------

④災害義援金・救援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、日本赤十字社を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

義援金等種別	件数	本年度送金額
ウクライナ人道危機救援金	53件	2, 273, 256円
2023年トルコ・シリア地震救援金	7件	244, 870円
令和5年台風第2号等大雨災害義援金 (茨城・和歌山・埼玉・静岡)	10件	37, 791円
令和5年6月・7月大雨災害義援金 (山口・福岡・佐賀・大分・島根・秋田・富山・石川)	17件	112, 286円
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	5件	14, 973円
令和5年台風第13号災害救援金(茨城・福島)	4件	2, 499円
2023年アフガニスタン地震救援金	4件	2, 603円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	12件	27, 299円
令和6年能登半島地震災害義援金	62件	4, 269, 653円
地域を指定しない海外救援金	12件	1, 300, 000円
令和5年度総計	186件	8, 285, 230円

### III. 地域福祉課生活支援係（なばり暮らしあんしんセンター）

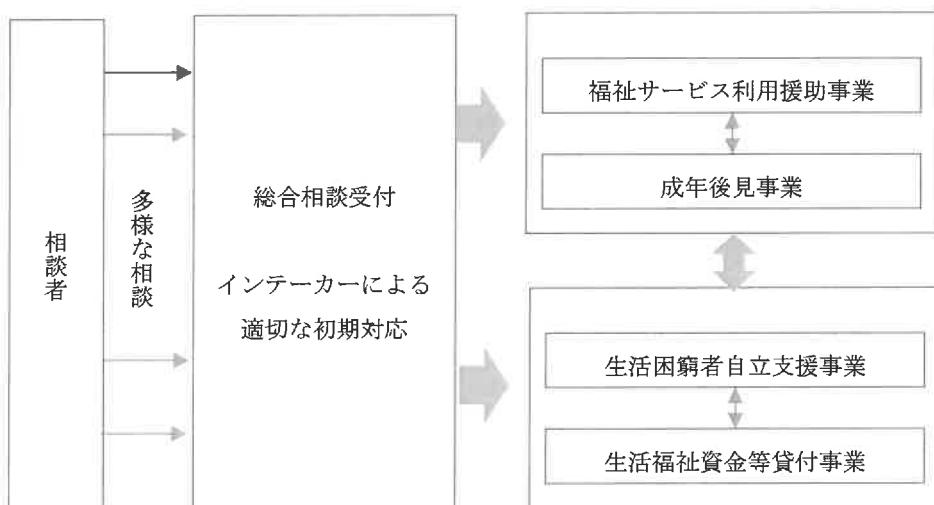
近年における社会の変化により、家族、地域社会、安定した雇用とうまく結びつくことが難しい孤立状態にある人の課題が顕在化してきています。当センターに寄せられる相談は多様であります、例えば

- ・介護が必要な高齢者と同居している子の長期間の無職状態（8050問題）
- ・年金収入だけでは最低生活維持がぎりぎりの高齢者の就労問題
- ・介護離職やコロナ禍での離職、その後の仕事がみつからない。（継続できない）
- ・不登校から成人後もひきこもり状態が続き、就労の経験がない（少ない）
- ・判断能力に不安があったり不十分で、金銭管理や財産管理が難しく、安心して生活が送れない
- ・身寄りがなく、入院・入所・賃貸契約等の保証、死後の事務を担う人がいない

などの事例では、社会的に孤立していることで、更に生活課題が深刻化します。当センターの相談に来られた方の自立・自律した生活を取り戻すために、包括的な相談窓口の1つとして既存の制度や支援機関では対応が難しい生活困窮者等を幅広く受け止め、関係機関と連携しながら、本人に寄り添った支援を行ってきました。

#### 1. 多様な生活福祉課題に対応できる相談体制基盤の整備

##### (1) 総合相談体系の整備



- ・複雑で多様な相談内容を受付時に丁寧に解きほぐし、適切な相談支援事業に振り分け、当センター内の各種事業担当者との連携、当法人内他部署との連携、名張市関係機関と連携しながら、相談者の暮らしの立直しに向けた伴走型支援に努めました。

##### (2) 相談機能の基盤強化

###### ①なばり暮らしあんしんセンター（生活支援係）事業の適正管理に向けた取り組み

業務の標準化	権利擁護チーム会議	1回/月	支援の進捗管理、制度運営確認、法人後見期日管理等
	日常生活自立支援事業契約前打合せ	都度	ケース情報共有、支援方針調整
	生活困窮者自立支援事業チーム会議	1回/月	進捗管理、研修等
	生活困窮者自立支援事業新規受入調整会議	都度	ケース情報共有、支援方針調整、担当者決定

預かり物の適正管理	日常生活自立支援事業内部点検	1回/年	地域福祉課長・総務課長による点検
	日常生活自立支援事業外部点検	1回/年	県社協による実施体制、実施状況、書類預り物等の点検
	成年後見事業法人後見受任者の預かり物内部点検	1回/年	地域福祉課長・総務課長による点検

## ②専門性の向上に向けた取り組み

相談援助職として必要となる知識・技術等の向上のため、研修会に参加し、相談員の資質向上を図りました。

各種研修会等への参画	件数
社協職員・相談援助職員としての専門性向上に関する研修	1件
地域包括ケア・地域共生社会に関する研修会	2件
孤独・孤立対策のに関する研修会（ひきこもり関連含む）	3件
福祉サービス利用援助事業に関する研修	3件
成年後見事業に関する研修	4件
生活困窮者自立支援事業に関する研修	13件
生活福祉資金等貸付事業に関する研修	3件

## 2. 福祉サービス利用援助事業

### (1) 日常生活自立支援事業の推進

日常生活自立支援事業の新規契約の締結は6件、実利用人数は72名になりました。契約終了件数については6件で、解約の理由は死亡が3件、本人の希望が1件、親族の管理が1件、施設入所1件。本会が実施する成年後見事業や市内関係機関と連携し切れ目のない権利擁護支援に取り組みました。

#### ①相談援助件数等

事項/対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問合わせ件数	0件	1件	1件	0件	2件
初回相談件数	17件	5件	3件	3件	28件
相談援助件数	840件	2,461件	1,846件	90件	5,237件
契約締結件数	1件	4件	1件	0件	6件
終了件数	3件	0件	3件	0件	6件
実利用人数 (令和5年度末)	12件	33件	26件	1件	72件

#### ②相談支援体制の強化

##### ア. 関係機関との連携

三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関との情報共有や支援連携を実施しました。

会議等への参画	・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会（毎月・ZOOM） ・地域ケア会議、カンファレンスへの参加（33回）
---------	--

##### ウ. 生活支援員活動の推進

生活支援員担当件数	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明その他	合計
11件	29件	24件	1件	65件	
活動者数(登録者24名、うち新規2名)					
生活支援員による支援 65件／72件 支援員対応率90%					

##### エ. 生活支援員研修会（三重県社会福祉協議会主催）への参加

第1回 11/7	令和5年度 日常生活自立支援事業 生活支援員等研修会 参加者： 9名
第2回 3/1	日常生活自立支援事業生活支援員研修 「地域での孤独に気づき、つながり、つなげ、見守る人材を養成する研修」

#### オ. 生活支援員の養成

生活支援員養成講座の実施	・2回シリーズ（10/11, 10/25） ・受講者8名（内、生活支援登録者6名）
--------------	--

### 3. 成年後見事業

#### （1）権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や高齢者や障害者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象区分	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明その他	合計
新規相談	5件	1件	1件	2件	9件
継続相談	20件	4件	6件	2件	32件
問合せ	0件	1件	0件	1件	2件

※主な相談内容等：制度説明、適切な機関への橋渡し等

#### （2）法人後見事業の運営

##### ①法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上保護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見(5件)	2件	128件	188件	318件
保佐(2件)	29件	141件	1,021件	1,191件

※「後見」については、令和6年1月に1名死亡により、3月末では後見4件となっています。

##### ②法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員・児童委員、名張市等の参画のもと2回開催しました。

開催回数・日程	検討項目
第43回 7月	・法人後見受任者の経過報告と支援計画について
第44回 2月	・法人後見受任者の経過報告と支援計画について ・相続案件について 等

##### ③法人後見支援員の育成・支援

法人後見支援員	支援員数：6名/担当件数6名（令和6年3月31日現在） (担当件数：令和6年1月までは7名であったが死亡されたため)
	被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を確保し、法人の強みである 身上保護面の対応を中心に法律関係者等と連携して育成・支援に取り組み ました

※名張市では第三者後見人（担い手）不足が深刻なことから、法人後見の特性である複数人体制（専門員と法人後見支援員）で、その人らしく地域で生活できるよう、特に意思決定支援・身上保護面を重視した後見活動ができる体制作りの検討を行いました。

### (3) 関係機関との連携によるチーム支援の推進

地域ケア会議等関係機関との協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀地域福祉後見サポートセンター (運営委員会 2回、実務担当者会議 1回、名張市地域包括支援センターとの情報交換会 12回)</li> <li>・津家庭裁判所伊賀支部との意見交換会 1回</li> <li>・家事関係機関との連絡協議会 1回</li> <li>・地域ケア会議、カンファレンスへの参加 14回</li> </ul>
-----------------	---

## 4. 生活困窮者自立支援事業

### (1) 各事業の実績

#### ①自立相談支援事業

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークを行い、本人とともに課題を整理し、プランを作成することにより、自立に向けた支援を実施しました。

##### ア. 相談件数(延べ件数)

電話	1, 817件
訪問	637件
来所	721件
連携	238件
同行	88件
メール	13件
カンファレンス	16件
その他	51件
合計	3, 581件

##### イ. 住居確保給付金

離職・廃業と同程度の状況（離職・廃業から2年以内の方または休業等）になり経済的に困窮し、住居を喪失した者又は住居を喪失するおそれのある方に対して、家賃相当額を名張市から家主に支給する住居確保給付金に関する相談や申請受付を行いました。

##### （新規・延長・再延長・再支給の合計）

相談件数	581件
申請件数	61件
承認件数	60件
支給金額	2, 224, 000円

##### ウ. 支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、関係機関と支援調整会議を月1回開催しました。

##### 【支援決定件数】

新規	66件
評価（再プラン）	31件
モニタリング（検討）	12件
終結	25件
合計	134件

#### ②就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対し、以下の支援を段階的に実施しました。ニーズに応じた段階的な支援メニューを提供することにより、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施することができました。

#### ア.支援実施状況

- ・就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援
- ・コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援
- ・就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

電話	6件
体験	176件
その他	19件
合計	201件

※体験には見学も含む

#### イ.協力事業所における就労体験

主に市内にある事業所の協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供しました。事業所における実際の業務を体験することで、就労に向けての経験を積めるよう支援を行いました。また利用者が多様な仕事の中から選択できるよう、協力事業所開拓を行い、2か所の企業（株式会社 大王樹、有限会社ウメザワ）と覚書を交わしました。

当事業利用者6名の内1名が一般就労に、1名が就労訓練事業へステップアップしました。

#### 【支援実施状況（延べ件数）】

協力事業所数	10事業所	
	体験	見学
GokiBank	91件	1件
隠おたがいさん	0件	0件
特別養護老人ホーム国津園	0件	0件
名張特別養護老人ホーム	0件	0件
株式会社 大王樹	0件	0件
株式会社アサネットワーク	26件	1件
NPO 法人アガペの家	4件	0件
株式会社ユー	0件	0件
レインボーラブ	52件	1件
有限会社ウメザワ	0件	0件
計	173件	3件

#### ③家計改善支援事業

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等、家計に関する生活課題を抱えている生活困窮者に対して、家計支援の視点から、自立に向けての支援を実施しました。生活困窮者本人が家計の現状を理解し、改善方法を考え、将来にわたって家計管理ができるよう、支援を実施しました。

#### 【支援実施状況】

電話・メール	61件
訪問	22件
来所	8件
カンファレンス・連携	15件
同行	5件
合計	111件

#### ④被保護者就労支援事業

##### 稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業における支援調整会議と一体的に運営することで、情報の共有も容易になりました、両事業で連携した支援が可能となりました。

支援決定	新規	2件
	再プラン	1件
モニタリング・協議	16件	

## (2) 事業啓発、関係ネットワークの構築

生活困窮者自立支援事業に関する事業啓発を中学校の不登校担当教諭に行いました。また、エリアディレクター会議に毎回出席し、関係機関で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら円滑にネットワークをつくることができました。

特に就労支援に関しては、就労先となる企業等の開拓に力を入れ、地域生活課題・事業目的・対象者理解を深めていただくよう啓発活動を行いました。企業の出展するイベントに参加、また別途11件の企業を訪問し、協力依頼を行いました。開拓企業他一般求人も含め36名が就労を開始することができました。

事業啓発	市内中学校の不登校担当教諭	
就労先の開拓	伊賀管内の企業訪問（11件）、イベント出席（2件）	
重層的な支援に向けた情報共有	エリアディレクター会議への出席	
就労関連機関との意見交換会	第1回	ジョブサポートハオ、伊賀市社協、名張市社協
	第2回	伊賀市、名張市、名張商工会議所、ハローワーク伊賀、ジョブサポートハオ、伊賀市社協、名張市社協
	第3回	伊賀市、名張市、伊賀市社協、名張市社協
支援団体との交流会	コープみえ伊賀センターとの交流会	
地域ボランティアとの意見交換会	隠おたがいさん	
居住支援関係	生活相談会の開催	
市民向け啓発講座の開催	「くらしあんしん講座」の実施	

## (3) みえ福祉の「わ」創造事業 食料提供支援等実施状況

三重県内の社会福祉法人が、協働して「制度の狭間の課題」に取り組む三重県社会福祉法人地域公益活動事業みえ福祉の「わ」創造事業を活用し、生活に困窮される方へ食料提供等を実施しました。

緊急食糧提供	57件
緊急時物品等支援	19件
合計	76件

## (4) 生活困窮者対策支援事業

名張市八幡のコープみえ伊賀センターが実施する宅配サービスで発生した返品商品や余剰品を生活に困窮される方へ食糧として提供するため生活協同組合「コープみえ」と協定を締結し、以下のとおり食料提供を行いました。

多くの市民の方々からの食料等寄付をいただき、緊急で必要とされる生活困窮者世帯に食料を提供しました。その数は個人11名・7団体・2企業から86回にわたる支援でした。

「コープみえ」	107件
市民・企業・団体	293件
合計	400件

## (5) 三重県居住支援連絡会への参画

住まいの確保が難しい方(住宅確保要配慮者)に対し、緊急対応の案内や必要な支援を行うことを目的に、名張市とともに、居住支援団体として生活相談会を12月2日に開催しました。

生活相談会の実施 12/2	主催：名張市社会福祉協議会 共催：名張市営繕住宅室・三重県居住支援連絡会 実施場所：名張市社会福祉協議会（ふれあい内展示ホール） 相談世帯数 5組
------------------	--

#### 4. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者が社会生活を営むなかで、不時の出費を必要とする場合に、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう、民生委員・児童委員や名張市社会福祉事務所、三重県社協と連携した貸付事業を行いました。

##### (1) 地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者等に対して、3万円を上限とした緊急的な貸付支援を行い、社会生活が送れるように自立相談・償還指導を行いました。また、生活保護受給者（申請中含む）に対しては、効果的な貸付けを行うため名張市社会福祉事務所との連携を図りました。

貸付相談件数（延数）	305件
貸付金額	587,500円（30件）
償還額	856,000円（41件）
未償還額(過年度分含む)	561,500円（26件）

##### (2) 生活福祉資金貸付事業

障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行う事により経済的自立や生活意欲の助長促進を図りました。

近年、複合的な生活課題を抱え、相談される方が多く、生活困窮者自立支援事業と連携し自立に向けた支援や社会参加を図ることができました。

###### ①相談及び貸付内容

資金の種類	相談件数(延数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	8件	0件	0円
福祉資金	一般福祉費	1件	1件
	療養費・介護費	4件	0件
	福祉費（転宅費）	109件	0件
	福祉費（住宅改修費）	13件	0件
	障害者自動車購入費	15件	0件
	生業費	24件	0件
	技能習得費	0件	0円
	緊急小口資金	53件	3件
教育支援資金	169件	13件	84,000円
不動産担保型生活資金	36件	1件	0円
その他	3件	0件	0円
合 計	435件	18件	14,625,000円

###### ②長期滞納者面談

面談件数	3件
------	----

##### (3) 生活福祉資金貸付事業の特例貸付償還猶予申請

新型コロナ特例貸付の緊急小口資金・総合支援資金の新規申請は令和5年9月30日を以て貸付申請の受付を終了しました。令和5年1月より特例貸付に関する償還が開始されたため償還免除申請や、償還猶予申請、償還月額変更に関する相談支援を行いました。

① 特例緊急小口資金

償還が難しい方の償還猶予、償還免除の申請の支援を行いました。

相談件数	36件
申請件数	36件
承認件数	40件

② 特例総合支援資金

相談件数	26件
申請件数	16件
月額変更申請	3件
承認件数	13件

## IV. 介護支援課

介護支援課は、介護保険事業として居宅介護支援事業と通所介護事業（老人デイサービス事業）と、名張市老人福祉センター「ふれあい」事業として指定管理事業と一般介護予防事業を実施しました。事業推進に当たっては、従来から取り組んでいる「自立支援・重度化防止ケア」を柱に高品質なサービス提供・中重度の方へのサービス提供による「選ばれる事業所」づくりに努め、結果として利用者確保及び健全経営について一定の成果となっています。

また、終息しない感染症、水害危険度の高い地域特性を踏まえた BCP の策定や、垂直訓練を実施するなど「災害に強い事業所づくり」にも努めました。

### 1. 介護保険事業

#### (1) 老人デイサービス事業

ふれあいデイサービスの特徴である、中重度（要介護 3 以上）及び医療的ケアの必要な方の積極的な受入（医療的ケア：胃瘻、在宅酸素管理、インシュリン、バルーン管理、ストマ管理、吸痰処置、褥瘡処置等）や機能訓練指導員による個別機能訓練の実施、自立支援に向けたレクリエーション・交流活動の実施等の「中重度ケアと自立支援介護」の両立に努めました。

それらにより、令和 2 年度・3 年度・4 年度と新型コロナによる影響で利用者減が続き、経営的にも苦しい状況が続きましたが、その中でも地道に専門サービスの提供基盤を整備し、居宅介護支援事業所等へのアプローチを行ったことで、1 日平均利用者数及び実利用者数についてもコロナ前に回復することができました。

#### ①年間実績概要：介護給付（要介護 1～5）+ 総合事業（要支援 1.2）

		令和 5 年度	令和 4 年度	比較増減
開設日		308 日	307 日	1 日
介護給付 (要介護 1～5)	実利用者数（年）	753 人	639 人	114 人
	実利用者数（月平均）	62.8 人	53.2 人	9.6 人
	延利用者数（年）	6,372 人	5,476 人	896 人
	延利用者数（月平均）	531 人	456 人	75 人
	延利用者数（日平均）	20.7 人	17.8 人	2.9 人
総合事業 (要支援 1.2)	実利用者数（年）	99 人	87 人	12 人
	実利用者数（月平均）	8.3 人	7.3 人	1.0 人
	延利用者数（年）	649 人	485 人	164 人
	延利用者数（月平均）	54.1 人	40.4 人	13.7 人
	延利用者数（日平均）	2.1 人	1.6 人	0.5 人
総計	実利用者数（年）	852 人	726 人	126 人
	実利用者数（月平均）	71.0 人	60.5 人	10.5 人
	延利用者数（年）	7,021 人	5,961 人	1,060 人
	延利用者数（月平均）	585.1 人	496.8 人	88.3 人

延利用者数（日平均）	22.8人	19.4人	3.4人
平均介護度（介護給付）	2.94	2.97	▲0.03
要介護3以上割合	62.3%	65.6%	▲3.3%
個別機能訓練I加算 (延利用者における割合)	4,768人 74.8%	4,768人 87.1%	0人 ▲12.3%
個別機能訓練II加算 (延利用者における割合)	614人 9.6%	479人 8.7%	135人 0.9%
運動器機能向上加算 (実利用者における割合)	86人 86.9%	79人 90.8%	7人 ▲3.9%
科学的介護推進加算：介護（全実）	5,922人	639人	5,283人
科学的介護推進加算：総合	96人	87人	9人
ADL維持等加算（全実）	6,372人	639人	5,733人

## ②自立支援に向けたレクリエーション・交流活動の実施

		内容
レクリエーション プログラムの工夫	主体的プログラムの実施	木工作業、野菜作り、調理レク
	クラブ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム体操クラブ</li> <li>・ゲームクラブ</li> <li>・脳トレクラブ</li> <li>・製作クラブ</li> </ul>
社会活動・参加プログラムの工夫	昭和保育園との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で活用する飾りつけをデイの利用者が作成</li> <li>・保育園からお礼の手紙等をデイ内で掲示</li> </ul>
交流事業の工夫	昭和保育園との交流事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会</li> <li>・クリスマス会</li> </ul>
	各種ボランティアの受入	歌謡・民謡・合唱、フラダンス、盆踊り、手話、楽器演奏（ウクレレ、サックス、三味線、太鼓、ギター）、詩吟、マジック

## ③業務の標準化に向けた各種会議等の実施

		内容
運営管理	管理者主任・リーダー会議	1回/月（実績：12回）
	サービス向上検討委員会	1回/2カ月（+臨時開催）
	感染対策委員会	向上検討委員会と同時開催
	虐待防止委員会	向上検討委員会と同時開催
	身体拘束防止委員会	向上検討委員会と同時開催
サービス管理	看護師・機能訓練会議	2回/月（実績：24回）
	介護員会議	2回/月（実績：27回）
	調理員会議	1回/3か月（実績：4回）

	衛生材料管理会議	随時（実績：1回）
	事例検討会	1回/月（2班に分けて実施）：実績11回

④専門性の向上に向けた取り組み

各種研修会への参加	件数	各種研修会への参加	件数
感染対策関係（コロナ、インフル、食中毒等）	2	介護保険制度関係	7
自立支援関係、介護技術	25	認知症関係	5
職員育成	2	虐待、成年後見、身体拘束関係	7
災害・リスクマネジメント関係	5	リハビリ関係	3
BCP関係	2	労務、ハラスメント関係	1
運営マネジメント、キャリアパス関係	1	運転技術	6

※オンライン研修の活用により登録職員含めた多様な研修機会の確保に努めました。

事例検討の実施	事例検討数：11回
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護事故件数（2件）：転倒事故</li> <li>・事故以外のヒヤリハット件数（19件）</li> <li>・要因分析と再発防止策の検討と実践</li> </ul>

## （2）居宅介護支援事業

- ・ふれあい居宅介護支援事業所は、特定事業所加算を算定する事業所であり配置職員全員が主任介護支援専門員資格を有していることから、中重度者（要介護3以上）や医療的ケアが必要な方、地域包括支援センターから要請される困難ケース等への対応に努めました。
- ・病院、医療系施設からのターミナルケア案件（類するもの含む）を積極的に受入れることで、関連機関からの照会が増加し、新規ケースとなる傾向となっています。
- ・コロナ関係の厚生労働省からの各種通知に則り既存ケースへの柔軟な対応を図りました。
- ・中重度率40%以上等で取得できる特定事業所加算Ⅰの要件が満たせず、5月より特定事業所加算Ⅱの算定となっていますが、月平均の目標値を上方修正し、利用者単価減を利用者数増で補い、目標値は達成となっています。

①年間実績：介護給付（要介護1～5）+総合事業（要支援1.2）

		令和5年度	令和4年度	比較増減
要介護 (要介護1～5)	延利用者数（年）	2,031人	1,970人	61人
	利用者数（月平均）	172.7人	164.2人	8.5人
	ケアマネ一人当たり	34.5人	32.8人	1.7人
	平均介護度	2.31	2.50	▲0.19
	中重度率（介護のみ）	36.7%	43.0%	▲6.3%
要支援	延利用者数（年）	153人	112人	41人
	利用者数（月平均）	12.7人	9.3人	3.4人
	ケアマネ一人当たり	2.5人	1.8人	0.7人

総計	延利用者数（年）	2, 226人	2, 082人	144人
	利用者数（月平均）	185.4人	173.5人	11.9人
	ケアマネ一人当たり	37人	34.6人	2.4人

※配置ケアマネジャー数：5名

※主任ケアマネジャー配置率：100%

#### ②休日・時間外対応状況

	令和5年度	令和4年度	比較増減
通常（8:30～17:30）	102件	151件	▲49件
早朝（6:00～8:30）	51件	14件	37件
夜間（17:30～22:00）	68件	98件	▲30件
深夜（22:00～6:00）	7件	2件	5件
計	228件	265件	▲37件

#### ③申請書類等提出代行業務

	令和5年度	令和4年度	比較増減
認定申請書、ケアプラン作成依頼届、紙おむつ給付利用新選書等	358件	361件	▲3件

#### ④関係機関との連携等

	内容
法人内事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張市老人福祉センター開催の介護教室への協力</li> <li>・地域福祉課地域福祉係（生活困窮・日常生活自立支援事業）と連携した他問題世帯等への支援</li> </ul>
地域包括支援センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議への参画</li> <li>・地域包括支援センターより紹介された困難ケースへの積極的対応</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県介護支援専門員資質向上事業への協力</li> </ul>

#### ⑤専門性の向上に向けた取り組み

	内容
各種研修会への参加	<p>【主な研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種連携</li> <li>・地域ケア会議</li> <li>・感染症対策</li> <li>・虐待関係</li> <li>・自然災害、防災対策、BCP</li> <li>・ケアマネジメント関係</li> </ul>
事例検討の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例事業所会議での既存利用者の事例検討：22回</li> <li>・他居宅介護支援事業所との事例検討会の実施：1回</li> </ul>
主任介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任介護支援専門員更新研修の受講：1名</li> </ul>

## 2. 名張市老人福祉センター指定管理事業

名張市老人福祉センター「ふれあい」において、新型コロナ感染拡大防止対策を行いながら「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づ

くり、介護予防の推進に努めました。

また、感染対策を行いながら状況に合わせた感染予防と利用促進の両立に努めました。

### (1) 指定管理事業

#### ①利用状況

	令和5年度	令和4年度	比較増減
開館日数	297日	296日	1日
年間延べ利用者数	8,181人	13,419人	▲5,238人
(月平均)	682人	1,118人	▲436人
浴室利用者数	601人	8,305人	▲7,704人
福祉バス利用者数	4,693人	4,765人	▲72人

※4月28日より名張市の方針により浴室利用が中止され、利用者数が大きく減少しました。

※受変電設備更新のため5月6日、台風7号の影響のため8月15日を休館としました。

#### ②利用促進

項目	内容
利用案内チラシの配布	・毎月介護保険証新規交付時に同封 ・地域福祉係協力による民生委員児童委員等への配布 ・福祉まちづくりセンターでの配布
館内ポスターの掲示	名張市総合福祉センター利用者に対する利用案内ポスターの掲示
名張市社協「ふれあいフェスティバル」での啓発	・名張市老人福祉センター案内ポスターの掲示 ・名張市老人福祉センター利用案内チラシ、福祉バス事項票の配布 ・介護予防啓発コーナーの設置 ・介護予防啓発チラシの配布 ・感染対策における手洗いチェック ・歯科衛生士による歯科相談
庁内動画モニター	利用案内を放送
FMなばり	利用案内を放送
社協ホームページ・広報	イベント、教室等の利用・予定案内の掲載

### (2) 生きがい活動支援通所事業

メニュー	内容・実績											
見守り・安全管理	・利用者の平均年齢は高く、足腰に不安のある方物忘れのある方など、見守りが必要な利用者も増加してきており随時必要に応じた声掛け・相談等を行っています。 ・見守りを必要とする利用者等については、職員間で共有するため、申し送りノート等を活用し支援の継続性を確保しました。 ・設置されているAEDの管理を徹底（毎日チェック）し、緊急時に備えました。											
みんなで語ろう会	・利用者の意見・要望を直接聞く機会として、職員と利用者との座談会を実施しました。											
鑑賞会の実施	利用者の楽しみを増やし、気軽に参加できるように実施しました。 <table border="1"><tr><td>映画会</td><td>歌、演劇の上映</td><td>毎月1回（月～土） 延べ364名</td></tr><tr><td>歌おう会</td><td>サックス・ギターの伴奏</td><td>実施回数：3回 延べ48名</td></tr><tr><td>フラダンスとサックス</td><td></td><td>実施回数：1回 延べ30名</td></tr></table>			映画会	歌、演劇の上映	毎月1回（月～土） 延べ364名	歌おう会	サックス・ギターの伴奏	実施回数：3回 延べ48名	フラダンスとサックス		実施回数：1回 延べ30名
映画会	歌、演劇の上映	毎月1回（月～土） 延べ364名										
歌おう会	サックス・ギターの伴奏	実施回数：3回 延べ48名										
フラダンスとサックス		実施回数：1回 延べ30名										
教養講座の開催	<table border="1"><tr><td>スマホ教室</td><td>実施回数：2回 延べ17名</td></tr><tr><td>防犯の講話</td><td>実施回数：1回 延べ30名</td></tr></table>			スマホ教室	実施回数：2回 延べ17名	防犯の講話	実施回数：1回 延べ30名					
スマホ教室	実施回数：2回 延べ17名											
防犯の講話	実施回数：1回 延べ30名											

	救急救命講座	実施回数：1回	延べ 18名
ふれあカード 抽選会	10回利用後のカードを応募券とし当選者には1日利用無料券を配布する等、利用促進を図るサービス事業を実施しました。	毎月、1回 延べ 425名	
利用者の練習成果の発表や交流の機会を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため開催しました。			
各種発表会 の開催	ビリヤード大会	7月8日（土） 12月16日（土）	参加者：13名 参加者：9名
	七夕カラオケ大会	7月8日（土）	参加者：41名
	新春カラオケ大会	1月13日（土）	参加者：33名
	曜日別カラオケ大会	10月2日～10月6日	参加者：71名
	サークル名	回数	延参加者数
自主サークル 活動及び趣味 活動	カラオケ教室	24回	205名
	いきいき書道クラブ（漢字・かな）	12回	138名
	レクリエーションサークル	10回	104名
	計	46回	447名
	趣味活動	延参加者数	
	ビリヤード	1, 505名	
	マージャン	732名	
	囲碁・将棋	327名	
	計	2, 564名	

### 3. 一般介護予防事業

#### (1) 介護予防に関する知識の普及啓発及び参加促進

メニュー	内容
健康づくり・介護予防啓発チラシの配布	健康づくり、介護予防（フレイル予防）に関する啓発チラシの作成・配布
脳トレプリントの配布	認知機能維持を目的に、数独や漢字ドリル、間違い探しにチャレンジできるよう毎週更新したプリントを配布
お口の健康チラシの配布	口腔機能の維持向上を目的に、啓発チラシ「はっちゃんだより」vol.6の作成・配布
手洗いの啓発	手洗いチェックカードを活用した啓発をふれあいフェスティバルにて実施
名張ケンコー！マイページ対象事業登録	マシン・トレーニング教室を対象事業として登録し、より多くの新規の方が介護予防事業に参画できるよう周知・啓発

#### (2) 利用者の状態の把握

項目	内容
入館時の健康チェックと健康相談	入館時に体調チェックを行い、本人希望により随時健康相談に応じました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、「体調チェックシート」を「入館受付票」に変更し、来場者の検温・体調を確認しました。
看護学生による血圧測定	実習時に看護学生より血圧測定コーナーを設けました。
介護予防手帳	一般マシン・トレーニング教室参加者に身体状況が記録でき、フレイル意識の向上と参加者身体状況の把握に努めました。
体力測定の実施	一般マシン・トレーニング教室の初日に体力測定を行い、身体機能の理解とフレイル予防意識の向上に努めました。

身体測定の実施	フレイル予防の意識向上を目指して身体状況をチェックする機会としました
---------	------------------------------------

### (3) 介護予防に係る運動等、介護予防に関する教室の通年開催

メニュー	内容	備考
一般マシン・トレーニング教室 (基本) (追加)	(基本) 1 クール 7 回のコースで、運動器機能の向上のための教室を実施（月～金曜日に実施）しました。 (追加) 教室経験者を対象に、1 日追加して教室を開催しました。	実施日数：210 日 延べ 2,993 名 実施日数：47 日 延べ 84 名
体力測定	教室参加初日に 6 種の体力測定を実施しました。	延べ 521 名
スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー（ボランティア）の協力を得て実施しました。	実施日数：42 日 延べ 485 名
ヘルスアップ教室	栄養改善のため、管理栄養士による「お弁当」づくり教室と講話を実施しました。	実施回数：1 回 延べ 12 名
体操の時間	身体機能の低下を予防するため、気軽に利用時に体を動かす機会を提供しました。	実施日数：246 日 延べ 1,682 名
身体測定の日	利用者自身が健康に目を向ける機会として、握力、体重、身長を測定する日を設定し、健康受命維持についての啓発を実施	実施日数：1 日 延べ 10 名
歯科相談の日	口腔機能の維持・向上のため歯科衛生士による歯科相談を実施	実施日数：3 日 延べ 30 名
介護教室	転ばぬ先の杖として、介護保険制度に係る講話や福祉機器等の紹介及び適切な使用方法を学ぶ機会を提供しました。	実施日数：5 日 延べ 116 名

※ 「一般マシン・トレーニング教室」の実施に当たっては、デイサービス機能訓練指導員（看護師）も協力しながらより安全に質の高い指導を実施。

### (4) 担い手としての参加促進

内 容	回数	延協力者数	
カラオケ指導	24回	24名	
フレイル予防サポーター	スクエアステップ教室 一般マシン・トレーニング教室	41回 17回	80名 21名

### (5) 地域の多様な主体との連携及び関係団体との連携による専門職の関与

メニュー	内容
三重県歯科衛生士会名張・伊賀支部	歯科衛生士と連携して、フレイル予防における口腔ケアについての歯科相談会の実施： 3 日
三重県地域活動栄養士連絡協議会	管理栄養士によるヘルスアップ教室の実施： 1 日
名張市立看護学校	・実習生の受入： 16 日間（実 20 名延 80 名） ・実習時に、フレイル予防についての啓発ポスター及びリーフレットを作成し、利用者への配布
福祉用具取扱い業者	介護教室実施時の協力 ・各種用具の提供 ・説明会講習
社会福祉協議内の関係部署	デイサービス事業所 ・一般マシン・トレーニング教室への協力 居宅介護支援事業所 ・介護教室実施時の講師及び相談会 ボランティアセンター ・フレイル予防サポーターの育成とコーディネート

## 4. 健全経営体制の基盤整備・業務効率の向上

### (1) 事業管理について

項目	内容
運営管理会議	<p>課長・係長・管理者による毎月定例開催（12回/年）</p> <p>【基本的検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務実績と運営課題の確認</li> <li>・サービス提供上の課題の確認</li> <li>・法人に対する調整事項について</li> </ul> <p>【令和5年度検討項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新運営管理体制について</li> <li>・利用者確保について</li> <li>・令和6年度運営体制について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対応について</li> <li>・次期制度改正について</li> </ul>
サービス向上検討委員会	<p>課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（6回/年）</p> <p>（特にサービス提供・質の担保について調整）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの標準化について</li> <li>・BCP策定について</li> <li>・利用者確保について</li> <li>・令和6年度報酬改定について</li> </ul>
感染対策委員会	<p>課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（6回/年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況の把握と想定課題の検討</li> <li>・各種関連通知の確認</li> <li>・職員行動指針、ガイドラインの確認と運用徹底 等</li> <li>・職員の心身状況の確認</li> </ul>
虐待防止委員会	<p>課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（6回/年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止指針の策定</li> <li>・課内研修の実施</li> <li>・運営規程への反映</li> <li>・各事業所での事例取り組みの共有・検討</li> </ul>
災害に強い事業所づくり	<p>・サービス向上検討委員会において、事業所ごとのBCP策定状況や内容について意見交換・更新を図りました。</p> <p>・各事業所においてBCP策定を進め、居宅介護支援事業所・通所介護事業所については、事業所単体としてのBCP策定を終了しました</p> <p>・今年度は自然災害を想定したBCP策定を進め、訓練についてはデイサービスでの水害避難訓練として、実際に2階への垂直訓練を行いました。</p>
生産性向上に向けた取り組み	<p>【LINE活用による情報共有及び緊急対応の実施】</p> <p>介護支援課課長・管理者グループによる時間外・休日での即応体制整備と運用や介護支援課感染対策委員会グループによる、感染案件発生時の情報・課題・方策の共有をリアルタイムの意思決定と対応を図りました。</p> <p>【リモートアクセスツールの活用】</p> <p>リモートアクセスツールの導入増により、在宅待機時でも介護保険システムや社内ネットワークに自宅よりアクセスし業務継続を図りました。</p> <p>その他、居宅介護支援事業所については、全ケアマネジャーに携帯端末を提供し、相談や関係事業所との連絡調整を効率よく対応できる体制を整備しました。</p>

※その他、各事業所において事業運営・サービス標準化等のために会議や事例検討会を隨時開催

### (2) 人材育成

項目	内容
各種研修会・事例検討会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業ごとに必要な専門性、制度理解、資格更新等の研修会に参加</li> <li>・研修後は事業所ごとの会議等で復命を行い、参加できなかった職員等についても可能な限り研修内容の共有を図りました。</li> </ul> <p>※事業ごとの研修内容は各事業実績欄に記載</p> <p>※オンライン研修の活用により登録職員含めた多様な研修機会の確保に努めました。</p>

目標管理制度・人事考課制度の適正運用	目標管理シート作成について重視し、課・事業の達成目標・運営課題を共有し、職員各々の職務や職責における行動とキャリアアップとも整合性をもたせることで、適正評価とモチベーション維持に努めました。
次世代体制に向けた要員計画の検討	介護支援課は職員離職率が低く、経験年数の高い職員集団ではありますが、反面職員の年齢層が高く、定年退職等により正規職員の構成率が低くなっています。今後の事業継続と適正運営体制に向けた係長・主任級の配置と30代を中心とした新規採用（内部登用含む）について、各事業で要員計画の検討をすすめました。

## V. 昭和保育園

### (1) 事業の概要

#### 1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	---

#### 2. 保育実績

保育人数	0歳児 12名、1歳 18名、2歳児 24名 3歳児 25名、4歳児 25名、5歳児 25名 合計 129名
------	---

#### 3. 年間行事

##### 【園行事】

4月 5日	入園式	10月 31日	秋の遠足
5月 9日	夏野菜の苗植え 5歳児	11月 17日	親子遠足（5歳児）
5月 18日	春の遠足	12月 16日	生活発表会
6月 30日	交通安全教室	12月 22日	冬のお楽しみ会
7月 4日	プール遊び開始	1月 9日	新年のつどい
7月 7日	七夕会	2月 28日	交通安全教室
7月 28日	夏のお楽しみ会	3月 7日	お別れ散歩
8月 5日	お久しぶり1年生	3月 8日	入園説明会
8月 9日	へいわのつどい	3月 14日	お別れ会
10月 7日	運動会	3月 26日	卒園式

毎週火曜日…異年齢交流にこにこデー（幼児クラス）

年4回………サッカー教室（5歳児）

毎月1回……おえかきであそぼう（5歳児）

えいごであそぼう（5歳児）

### (2) 適切な運営体制確立

#### 1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 (9月 16日)	・令和5年度保育計画について ・保育課程（年間計画・保健計画・食育計画） ・施設環境整備推進について
第2回 (3月 16日)	・令和5年度運営状況報告について ・令和6年度計画について

## 2. 施設環境整備の推進

備品購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タオル掛けスタンド×5</li> <li>・乳児トイレ用整理棚</li> <li>・ミルクポット</li> <li>・幼児用絵本棚×2</li> <li>・ワイヤレスマイク</li> <li>・5歳児用机×7</li> <li>・業務用タブレット×13</li> <li>・ベビーサークル</li> <li>・水フィルター掃除機</li> <li>・乳児用避難車</li> <li>・0歳児用フリー棚</li> <li>・5歳児用椅子×25</li> </ul>
修繕及び改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外プール給水バルブ取替</li> <li>・手洗い場アクリル板取替</li> <li>・幼児組手洗い場設置</li> <li>・5歳児空調機修理</li> <li>・門扉改修工事及び入退室管理システム設置</li> <li>・テラス階段タイル張替え</li> <li>・無線ランアクセスポイント設置（増設）</li> </ul>

## 3. 健康管理の推進

内科健診	4月 27日、10月 12日
尿検査	4月 14日
歯科検診	5月 11日
5歳児健診	6月 23日、11月 27日
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	11月 1日（5歳児）、3月 1日（4歳児）

- ①職員の健康診断
- ②給食・調乳に係る職員の検便（月1回以上）
- ③防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

## 4. 防災計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、名張警察署及び交通安全アドバイザー指導による交通安全教室を開催しました。

### ①避難訓練実施

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	地震（第2避難場所）
5月	火災（給食室）	11月	火災（事務所湯沸かし室）
6月	地震	12月	火災（給食室）通報訓練
7月	火災（乳児室）	1月	地震
8月	風水害	2月	火災（給食室）
9月	不法侵入	3月	総合訓練

### ②交通安全教室（指導）実施

6月 28日	交通安全教室実施
3月 10日	交通安全教室実施

## 5. 保護者との連携

保育ICTの導入により、園児の出欠確認や登園後の体調不良等の状況確認がアプリで対応可能となりました。さらにタブレットを追加したことで、保護者との連携がスムーズに行えるようになり、見通しの良い保育を通して保育内容の共有と保育理解につな

がるよう努めました。

## 6. 地域との交流の推進

- ① 地域の公園散歩（随時）鍛冶町公園、豊後町公園、朝日公園、平尾山カルチャーパーク、かぼちゃ公園など
- ② 城下川の花筏見物
- ③ 寿栄神社境内散歩（随時）
- ④ 宇流富志禰神社（随時）
- ⑤ 名張地区まちづくり推進協議会との交流  
・竹行灯づくり・竹行灯展示
- ⑥ 愛宕神社おみこし見物
- ⑦ やなせ宿絵画展示（5歳児）
- ⑧ イオン絵画展示（4、5歳児）
- ⑨ 南町獅子神楽保存会による獅子舞演舞見学

## 7. 読書活動の推進

子どもの興味や発達に応じた絵本を購入し、お話会を月一回開催しました。

また、絵本の紹介や子どもの読書の様子を伝える「えほんのとびら」を発行し、保護者への読書啓発に繋がりました。

## 8. ふれあい活動・高齢者との交流

- ① 小、中、高校生とのふれあい活動
- ② 職場体験（名張中、赤目中、南中、北中）
- ③ ふれあいデーサービスの利用者の方との交流。  
・入園式、卒園式、運動会等行事用装飾の共同制作  
・利用者さんによる手作り玩具の提供（木製玩具、ままごと用玩具、ぬり絵等）

## 9. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じ専門リーダー（乳児・幼児・発達支援・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理）となりキャリアアップに繋げました。

### ①研修内容

園内研修	・人権保育　・障害児保育　・公開保育 ・乳児保育　・幼児保育
園外研修	・な同会（なばりの同和保育を考える会）・絵本 ・障害児保育　・乳児保育　・幼児保育　・食育 ・発達支援　・保健　・公開保育　・わらべうた ・保育実践　・地域子育て　・保護者支援

### ②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	7名	高田短期大学、皇學館大學 畿央大学、豊岡短期大学 名張看護専門学校

### (3) 特別保育事業

#### 1. 低年齢保育事業の推進

生後 6 カ月より受け入れ、0 歳児～2 歳児まで 51 名の子どもを保育しました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

#### 2. 延長保育事業の推進

##### ①延長保育の利用実績（平日 18：15～19：15）

4月	40名	10月	29名
5月	36名	11月	24名
6月	34名	12月	28名
7月	36名	1月	19名
8月	25名	2月	17名
9月	24名	3月	19名

\*一か月平均 28名 年間延べ利用人数 331名

##### ②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

#### 3. 個別乳幼児特別支援事業の推進

個別支援計画を立て、発達支援センター等関係機関と連携し、障害児保育を行いました。また、5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

#### 4. 異年齢交流の推進

毎週火曜日ににこにこデーを開催し、3・4・5歳児で、体操やふれあい遊びを行いました。

#### 5. 一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ 109 名預かりました。

△	利 用 児 童 数						
	半日			一 日			計
	① 勤務 形態等	② 緊急 一時的	③ 私的 理由等	① 勤務 形態等	② 緊急 形態等	③ 私的 理由等	
合計	1	1	3	36	13	55	109

#### 6. 家庭支援保育の推進

家庭推進保育士 2 名を配置し、家庭の状況を把握して一人一人の子どもの心身の状態を考慮した適切な家庭支援を行うことに努めました。また、保護者の気持ちに寄り添い、子育て相談に応じ保護者支援を行いました。

#### (4) マイ保育ステーションの取り組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。また、乳幼児の発達を踏まえ、親子が安心して過ごせる遊び場を提供しました。

##### 1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	152名	未就園児、妊婦さんの登録者
利用人数	延べ1,969名	0歳児とその親の利用が全体の半数を占め、全て3歳未満児です。妊婦は延べ23名利用されました
一時預かり無料体験	85名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育をしました

##### 2. 毎月の行事内容

行事	内容
作って遊ぼう	ステーションの保育士と一緒に制作遊びをしました
ステーションで遊ぼう	親子で楽しめる体験や季節の手遊びなどを紹介しました
絵本大好き	ステーションの保育士が絵本やパネルシアターでお話をしました
誕生日会	お誕生日カードをプレゼントして、誕生日会をしました
身体計測	乳幼児用計測器を使って看護師が身体計測をしました
その他	毎日園庭を開放し保育園の遊具や玩具を使って遊びました

## IV. 総務課・地域福祉課

### 1. 名張市総合福祉センター指定管理事業

#### (1) 施設の維持管理

①施設、設備の保守点検・修繕等による安全管理の徹底

##### ア. 施設の管理状況

名張市総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、福祉関係団体や市民のみなさまが安心、安全に集う場として活用されるよう、施設及び設備の保守点検・修繕等を実施しました。大規模改修としては、名張市においてスプリンクラーポンプの修繕を実施しました。

また、名張市総合福祉センターふれあいは、築28年が経過し、施設、設備の老朽化が顕著となっていることから、設備更新や大規模修繕を計画的かつ、確実に実施していくため、ふれあいホール内音響装置更新や中央監視盤、空調設備更新及び改修等、経年劣化している設備のメンテナンスに向けて名張市へ報告、要請を行いました。

主な管理項目	費用
警備業務委託	554,400円
自家用電気工作物保安管理業務委託	435,600円
昇降機保守点検業務委託	1,211,100円
駐車場管制装置保守点検業務委託	462,000円
構内交換電話設備保守業務委託	154,000円
清掃業務委託	3,369,991円
設備保守管理業務委託	8,791,200円
管理運営にかかる休日及び時間外業務委託	1,485,492円
冷却水系水処理剤投与委託	142,560円
名張市総合福祉センター法面草刈委託	169,600円
その他	129,800円
合計	16,905,743円

##### イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、名張市と協議しながら、順次、修繕を行いました。

主な修繕箇所	ワークプラザ積算電力量計検定期限切れに伴う更新工事、1階多目的トイレ湯ポット(オストメイト)取替工事、ピロティホール屋根雨漏りシーリング工事、バコティンヒーター経年部材取替整備、卓球台脚部修繕、駐輪場防水コンセント取替工事、GHP101系統室外機修繕、屋外ベンチ天板張替え修繕、ホール時計修繕、駐車場入り口ポール・コーナーガード設置工事、3階ベースライト更新工事、LED更新工事、小便器センサー交換修繕、自家用発電機点検
修繕に要した費用	2,100,939円

##### ② 施設利用状況

新型コロナウイルス感染症が第5類となったことから、本日のイベント情報など案内看板等を設置するなどし、利用者への情報提供に努め、合わせてふれあいホール及び会議室の利用を促進しました。

##### ア. 臨時開館

臨時開館	11月23日(木・祝) ふれあいフェスティバル開催
------	---------------------------

イ. 会議室・ホール利用件数：2, 069件

ウ. 利用料・参加費収入

令和5年4月よりコピー・印刷代については料金改定を行いました。

内訳	金額
会議室・ホール	2, 000, 840円
駐車場	187, 750円
コピー・印刷代	274, 902円
卓球台	149, 120円
合計	2, 612, 612円

### ③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

名張市総合福祉センター内各事業所職員による美化活動として、年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃きを行い、地域の浚渫にも参加しました。

## (2) 施設利用者の拡大

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口対応により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるよう努めました。

## (3) 防災対策

消防訓練や垂直避難オリエンテーションを実施しました。

### ①防火管理委員会の開催

第1回	2月21日(水)	第2回	3月11日(月)
-----	----------	-----	----------

### ②消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

火災発生を想定し、各事業所職員を対象に消防・避難訓練を実施しました。

実施日時	2月26日(月) 14:00~15:00
訓練内容 (部分訓練)	避難誘導経路図に基づき避難誘導路を確認。 消火器及び消火用散水栓の設置場所の確認や防火シャッターの設置場所を確認し、手動操作場所を確認しました。

実施日時	3月18日(月) 13:30~15:00
訓練内容 (総合訓練)	自衛消防組織の役割について再確認し、通報訓練及び初期消火訓練を実施しました。